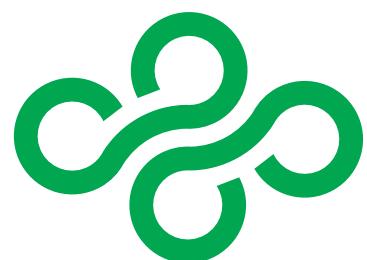


会報

第 68 号

2018.12



一般社団法人
静岡県危険物安全協会連合会

県危連「シンボルマーク」

1977年に県危連のシンボルマークを一般公募した結果、鈴木範夫氏の作品が選ばれた。

このマークは、危険物の「危」を図案化したもので、緑色は安全を意味している。



表紙写真の説明

題名 伊豆ベロドローム

写真提供 一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター

伊豆ベロドロームは、日本で唯一屋内型木製250mトラックを有する施設です。自転車競技の普及と世界レベルの選手の育成・強化目的に建設されました。

2020年には、伊豆ベロドロームが東京オリンピック自転車競技トラック・レース会場として使用されることが決定しています。

「ベロドローム」とは、「自転車競技場」という意味で、「Velo（ベロ）」はラテン語が語源のフランス語で「自転車」、「drome（ドローム）」はラテン語で「競技場」を意味しています。

— 静岡県「Myしづおか日本一」のホームページより —

以下、サイクルスポーツセンターの紹介です。

【所在地】 〒410-2402 静岡県伊豆市大野1826番地

(ホームページ <http://www.csc.or.jp/izuvelodrome/index.html>)

【電話】 0558-79-0001 (サイクルスポーツセンター)

料金	区分	入場料	とくとくパス(入場料込み)
個人	大人(中学生以上)	820円	2,980円
	小人(4歳以上)	620円	2,980円
団体 (25名以上)	大人(中学生以上)	720円	2,880円
	小人(4歳以上)	520円	2,580円

【開館時間】 10:00 (4/1~7/19は9:00) ~17:00 (4/1~7/19は16:30)

【定休日】 毎週木曜日 (祝日は営業)

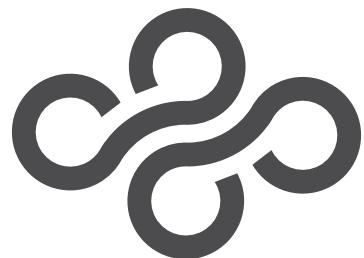
【アクセス】

電車	東海道新幹線「三島駅」経由、伊豆箱根鉄道「修善寺駅」下車、バス約20分 東海道新幹線「熱海駅」経由、伊東線「宇佐美駅」下車、タクシー約30分
車	東名高速道路「沼津I.C.」または新東名高速道路「長泉沼津I.C.」から約35分 東駿河湾環状道路～伊豆中央道「大仁中央I.C.」から伊東方面に8km)
バス	新東海バスで20分 (伊豆箱根鉄道「修善寺駅」からサイクルスポーツセンター行き)

会報

第 68 号

2018.12



一般社団法人
静岡県危険物安全協会連合会

● ● ● 目 次 ● ● ●

◇ 会長あいさつ （一社）静岡県危険物安全協会連合会会長 中島 博康	1
◇ 会報の発行に寄せて 静岡県危機管理部消防保安課長 細沢 光晴	2
◇ 平成30年度危険物安全大会 ・消防庁長官表彰受賞者の紹介	3
・（一財）全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状受賞者の紹介	5
◇ 表彰状授与式及び平成30年度危険物管理技術研修会 ・県知事表彰・褒賞受賞者の紹介	11
・平成30年度危険物管理技術研修会講演	15
◇ 国の動き ・平成29年危険物関係法令の改正概要	26
・平成29年中の主な通知	26
・平成30年度危険物等事故防止対策実施要領	27
・震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱い等の安全対策と手続	29
【ちょっとひといき・コラム】	
「休日の過ごし方」 (一社)静岡県危険物安全協会連合会 理事 富士市防火協会会长 渡辺 智明	24
◇ 国の動き 「清水町防火協会 会長就任にあたって」 清水町防火協会会长 鈴木 靖(企画委員会委員)	33
「さとうきび列車に会いに」 三島市防火協会会长 山本 良一	34
◇ 県内危険物施設の事故状況(平成29年)	35
◇ 全国危険物施設の事故状況	37
〔コラム〕「静電気事故を防ぐポイント」	37
◇ 危険物安全協会連絡会だより 「絆」 東部地区危険物安全協会連絡会	39
【ちょっとひといき・コラム】	
「安全で快適な環境作り」 長泉町防火協会会长 影山 正樹(総務委員会委員)	43

「やっぱり」 裾野市防火協会会長 市岡 由寿（広報委員会委員）	4 4
◇ 危険物安全協会連絡会だより 「この一球 届け無事故へ みんなの願い」 中部地区危険物安全協会連絡会	4 5
【ちょっとひといき・コラム】 「富士宮市防火安全協会 会長就任にあたって」 富士宮市防火安全協会会長 御宿 冬樹（総務委員会委員） 「夢はかなわなくとも、追いかけることで人は成長する」 袋井保安管理協会会長 平川 和之（企画委員会委員）	4 8 4 9
◇ 危険物安全協会連絡会だより 「西風のたより」 西部地区危険物安全協会連絡会	5 1
◇ 地区協会の広場 下田地区危険物安全協会 沼津市防火協会 志太危険物安全協会 湖西市危険物安全協会	5 4 5 8 6 4 6 8
◇ 県危連からのお知らせ ・ 危険物取扱者試験予備講習のご案内 ・ 危険物取扱者の義務 ・ 危険物取扱者保安講習のご案内 ・ 平成29年度事業報告書 ・ 平成29年度決算 ・ 平成30年度事業計画 ・ 平成30年度収支予算 ・ 視聴覚教材一覧 ・ 役員・地区協会会长名簿 ・ 賛助会員名簿 ・ 各委員会の委員名簿	7 2 7 3 7 4 7 5 8 0 8 2 8 6 8 8 8 9 9 1 9 1
◇ 地区協会事務局住所	9 2
◇ 【編集後記】	9 3



会長あいさつ

一般社団法人 静岡県危険物安全協会連合会

会長 中島博康

最近の日本列島は相次ぐ豪雨災害、火山噴火、さらに大阪府での震度6弱、北海道での震度7の地震発生による全道停電など、様々な自然災害に襲われております。

また、本県に関わる巨大地震につきまして、これまでの予知が可能とされた東海地震への対応から一転して予知を前提としない南海トラフ巨大地震への対応が必要となるなど、その状況は激変しております。

政府の地震調査研究推進本部によればマグニチュード8から9クラスの南海トラフの地震が今後30年間で70%程度の確率で発生するとされております。

日本列島は、地震活動や火山活動が活発化しており、いつ、どこで大きな災害があるてもおかしくない状況にあります。

一方、私たちが日々、携わっております危険物につきましては、ここ数年、県内の事故が急増し、大きな事故も発生いたしました。

増加の要因として、火災に関しては管理不十分・確認不十分等の人的要因、漏えいに関しては、危険物施設の老朽化等に伴う腐食・劣化の物的要因が主なものとして挙げられております。

危険物を取り扱う私どもといたしましては、安全な設備と安全な管理運営に万全を期することを前提に、施設の使用が許可されていることを改めて自覚し、ソフト・ハード両面から安全対策を、より強化していく必要があります。

さらには、地震を始めとした自然災害の発生を想定して、如何にして減災に取り組むかなど、消防機関等のご支援をいただきながら、新たな課題にも対峙し、一步でも前進させていくことが求められています。

当連合会としましても、危険物に対する安全意識の普及・啓発事業を始め、人材育成事業などに一層の努力をしてまいりますので、皆様方の引き続いてのご協力をお願いします。

終わりに、行政当局、地区協会など日頃お世話になっています皆様方のご健勝とご発展を衷心よりお祈り申し上げます。



会報の発行に寄せて

静岡県危機管理部消防保安課長

細 沢 光 晴

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の皆様におかれましては、平素から危険物に係る安全思想の普及をはじめ、危険物を取扱う施設・設備等における安全管理体制の整備などに積極的に取り組まれ、地域社会の安全確保に多大な貢献をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

本年6月18日には、大阪府北部を震源とする地震、7月上旬には、西日本地方を襲った豪雨災害が発生し、これらの災害により200人を超える人が犠牲になりました。お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

これらの災害により、危険物施設における重大事故は発生していないと聞いておりますが、近年、過去に例を見ないような災害に見舞われていることから、事故を未然に防止するためには、地震・津波対策に加えて、風水害の対策も事前に想定しておくことが求められます。さらに、災害想定を踏まえた防災計画の作成や防災訓練の実施など、万が一、不測の事態が起きたとしても、適切な事故対応を円滑に行えるような保安体制を構築することが重要であります。

ところで、昨年の全国における危険物に係る事故件数は775件であり、近年の事故件数は、依然として高い水準で推移しています。県内における危険物に係る事故件数も、平成27年は15件、平成28年は20件、平成29年は17件と高止まりしている状況であります。加えて、平成29年12月には、県内の危険物一般取扱所において死傷者を伴う爆発事故も発生していることから、より一層、事故防止対策に取り組んでいく必要があります。

県におきましても、危険物に係る事故を防止するために、過去の事故内容や原因等を整理・分析し、関係機関へ情報提供を行うなどの取組を行っております。

近年では、機械の導入による業務の無人化や、経験豊富な従業員の高齢化により、危険物取扱い業務に携わる従業員の知識や技術の低下が危惧されております。それを補うために貴協会では、保安講習等を通じて、的確な対応ができる人材の育成に御尽力をいただいております。重ねてお礼を申し上げるとともに、今後とも危険物取扱者の資質の維持向上に力を入れていただくよう、お願ひ申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会のさらなる御発展と、皆様方の益々の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。

平成30年度 危険物安全大会

平成30年6月4日（月）に平成30年度危険物安全大会が、東京都千代田区のルポール麹町で、全国の危険物安全協会関係者をはじめ、消防庁長官など多数の関係者が出席し、盛大に開催されました。

式典は、消防庁長官の式辞に続き、消防庁長官表彰、（一財）全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状の受賞者に表彰状・感謝状が授与された後、危険物安全大会宣言で締めくくられました。

表彰式後、愛知工業大学地域防災研究センター客員教授・京都大学名誉教授 入倉 孝次郎氏による「2011年東日本大震災及び2016年熊本地震の災害から学ぶ安全対策のための地震動・津波予測」と題した記念講演が行われました。

なお、当日受賞の栄誉に輝かれた本県関係者は次のとおりです。心からお祝い申し上げます。

（地区協会役職名等は受賞時のものです）

消防庁長官表彰

◆危険物保安功労者（個人）

望月久司

静岡市防災協会

（一財）全国危険物安全協会理事長表彰

◆危険物保安功労者（個人）

井原宏政
鈴木裕司

伊東市危険物安全協会会长
浜松市防災協会会长

◆優良危険物関係事業所

出光興産株式会社
大井川油槽所

志太危険物安全協会

◆会員感謝状

鈴木克弘

袋井保安管理協会

平成30年度 危険物安全大会

日時：平成30年6月4日（月）

場所：ルポール麹町（東京都）



稻山博司消防庁長官式辞



理事長表彰



消防庁長官表彰危険物保安功労者受賞者



本県受賞者のうち3名の方



記念講演

総務省消防庁長官表彰

○危険物保安功労者（個人）

望月 久司 静清塗料株式会社 代表取締役
(一社) 静岡県危険物安全協会連合会 監事
静岡市防災協会 理事



平成30年6月4日、東京都内のルポール麹町で開催された「危険物安全大会」に於いて、保安功労者として栄誉ある消防庁長官表彰を受賞できましたことは、これもひとえに（一社）静岡県危険物安全協会連合会をはじめ、静岡市防災協会、静岡市消防局の皆様の支援の賜と心より感謝申し上げます。

私どもは、危険物を取り扱う企業として日常に於いて、安全・安心をモットーとし、活動して参りました。今まで無事故で来ることができましたのも、従業員や支えて下さる皆様のご理解、ご協力があってこそと思っております

日常の活動に於いては、「安全」を常に意識した行動を行うよう従業員に徹底するとともに、特に危険物の漏洩といった事故を起こさないように気を付けております。

また、私どもも地域の一員である意識を持ち、近隣の皆様のご協力を頂きながら防災に取り組んでおります。

防災の設備、用品を備え、従業員の意識の周知や訓練を行っておりますが、これらが訓練にのみ使用されることを願うとともに、そうあるように日々の活動に活かして参ります。

近年は、世界的に見ても環境に配慮した活動が企業に求められております。

私たちを取り巻く環境も年々より厳しいものとなってきていますが、今回の受賞を糧とし、地域の皆様、関係者の皆様にご協力を頂き、更なる安全意識の向上に努めて参ります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

井原 宏政 東海石油株式会社 代表取締役社長
伊東市危険物安全協会 会長



平成30年6月4日（月）、東京都のルポール麹町で開催された平成30年度危険物安全大会において、(一財)全国危険物安全協会理事長表彰を受賞いたしましたことは、誠に光栄であり、心より感謝申し上げる次第です。

伊東市危険物安全協会は、昭和41年5月、初代会長・井原義郎（私の父）のもと発足し、今まで大きな事故を一度も発生させることなく活動を続けております。平成27年7月には、他の地区協会ではなく、当協会の独自事業として40周年、45周年、50周年と継続して開催してきた、地震、津波、火山に関する防災講演会の開催が評価され、総務大臣表彰を受賞しております。

私は、平成13年5月の理事就任以来、今日に至るまで役員を続けており、この間会長職を通算6期12年務めております。今回の受賞は、保安功労者として、個人としての受賞となります。伊東市危険物安全協会を代表していただいた表彰と思っております。

これからも、地区協会として、危険物を取り扱う者の使命として、地域の住民の皆さんに“安心と安全”を与える努力を続けていくと共に、防災講演会の開催などにより地域社会への貢献も続けていく所存です。

最後に、(一社)静岡県危険物安全協会連合会並びに伊東市危険物安全協会の益々のご発展と、関係各位のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

鈴木 裕司 株式会社遠州日石 代表取締役
(一社) 静岡県危険物安全協会連合会 副会長
浜松市防災協会 会長



平成30年6月4日（月）、東京都千代田区のルポール麹町で平成30年度危険物安全大会が開催され、その席上において全国危険物安全協会理事長表彰を頂き、危険物保安功労者として名誉ある表彰を受けることができました。

これもひとえに、(一社) 静岡県危険物安全協会連合会関係各位及び浜松市防災協会並びに浜松市消防局の皆様の御指導御鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。私が勤めております危険物事業所では通年48年に渡り安全を守ってまいりました。また、現在の浜松市防災協会（平成27年4月に浜松市内の4つの防火協力団体が合併設立）、前身の浜松市危険物安全協会から理事及び副会長を経て、今の浜松市防災協会 会長として通年15年間役員を務めてきました。

浜松市防災協会は、各事業所の安全管理体制の確立を図るため、年間を通じて訓練や研修及び他市への視察など、活発な活動を実施してまいりました。

今後も火災をはじめ災害全般に対して、事業所の防火・防災思想の普及啓発と自主防火管理体制の確立に取り組んでいくとともに、この表彰を機に、さらに協会の事業に寄与できるよう努めてまいりますので、引き続き関係各位からの御指導を宜しくお願い申し上げます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○優良危険物関係事業所

出光興産株式会社大井川油槽所（志太危険物安全協会）



平成30年6月4日（月）東京都千代田区のルポール麹町で平成30年度危険物安全大会が開催され、その席上において（一財）全国危険物安全協会理事長表彰（優良危険物関係事業所）をいただき、誠に光栄であり心より厚く御礼申し上げます。

これもひとえに、（一社）静岡県危険物安全協会連合会関係各位及び志太危険物安全協会の皆様のご指導ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

弊所は昭和49年燃料油石油基地として竣工し44年が経過、大量の危険物を取り扱う中、多くの先輩が安全操業に従事してきた結果、無事故・無災害を継続する事が出来ました。引き継いだ我々も安全管理体制を確立すべく、万が一に備えた訓練及び教育を徹底するとともに、各所で開催される研修会等に積極的に参加してまいりました。

また、志太危険物安全協会の事業である保安指導（安全委員による点検）を通じて、会員事業所の保安管理体制を確認し、互いに安全意識の向上に努めてきました。

この度の受賞を機に更なる自主保安管理体制の強化と地域の振興に寄与できるように、所員一丸となり事業所の防火・防災対策に取り組んでまいります。

最後に、（一社）静岡県危険物安全協会連合会及び志太危険物安全協会の益々の発展と関係する皆様のご健勝とご多幸を祈念し、お礼とさせて頂きます。



油槽所内の様子

(一財) 全国危険物安全協会理事長感謝状

○感謝状

鈴木 克弘 前 袋井保安管理協会 会長



平成30年6月4日、東京都内にて開催された、一般財団法人全国危険物安全協会主催の「平成30年度危険物安全大会」の席上にて、栄えある理事長感謝状を受賞できたことは、光栄の至りであります。これもひとえに日頃よりご指導を頂いている袋井消防本部をはじめ、静岡県危険物安全協会連合会並びに関係者各位様のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

私は、平成26年5月から平成30年5月までの4年間地区協会の会長職を務めさせていただきました。

この期間感じたことは、世界規模での自然災害が発生しました。ITが発達した関係で災害情報は、いち早く放送されるようになってきましたが、その情報を活用できるかは、地域関係機関の連携であると思っています。情報を活かすのは、一人一人の判断です。

ダイヤモンドの原石もカットから宝飾品にするのに色々な人の連携です。

「ダメリヤンカット」ではなく「ブリリヤンカット」で価値が出来ます。

ITを活かすのは、アナログです。

そこで自分が取り組んだことは、会員とのコミュニケーションを交わすことでした。事務局と会議に対しても、役員全員で話すこと、委員会についても事務局が話して終わるではなく、意見を出し合って決めることでした。

次には、ノミュニケーションです。会議の後での何気ない気取らない会話ができることです。

自分一人では、何もできませんがチームになれば強くなります。

それには、各種講習会、研修会の参加で身に着けた方の知識を事業所や地域の方に伝達しなければいけません。昔、山本五十六氏が、「やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」と言われたと言います。まさに、教養でなく、知識・知恵を活用できなければ、絵に描いた餅です。

今後、発生が予想されている東南海地震の想定外の災害に備え、各人が対応できる活動を協力していきたいと思っています。

結びに、このような機会を与えていただきあらためて感謝申し上げ、併せて静岡県危険物安全協会連合会の今後ますますの発展と関係者各位のご健勝を心からご祈念し、お礼とさせていただきます。

表彰状授与式及び平成30年度危険物管理技術研修会

平成30年9月4日（火）に開催する予定でした（一社）静岡県危険物安全協会連合会の第48回創立記念大会が、台風第21号のため中止となりました。このため、同大会での表彰式に代え、表彰状授与式が危険物管理技術研修会と併せ、平成30年11月21日（水）に静岡市の静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」で盛大に開催されました。

当日は、静岡県危機管理部消防保安課長細沢光晴様のご臨席を賜り、多くの地区協会関係の皆様のご参加をいただきました。

中島博康会長の挨拶の後、長く保安功労等を務められた個人と事業所に対し、静岡県知事及び連合会会长から、賞状、褒状、感謝状がそれぞれ授与されました。

その後、東京経済大学名誉教授 吉井 博明氏より「自ら考え、失敗事例から学ぶ危機管理」と題して講演が行われました。

（1）静岡県知事表彰

（保安功労者）

井 原 宏 政
井 上 吉 勝
大 谷 豊

伊東市危険物安全協会
島田・北榛原地区危険物安全協会
袋井保安管理協会

（2）静岡県知事褒賞

（保安功労者）

稻 葉 智 之
向 井 和 之

東伊豆町危険物安全協会
熱海市防火協会

（優良事業所）

静岡資材株式会社 藤枝販売支店
株式会社中部プラントサービス 原子力本部
藤森工業株式会社 掛川事業所

志太危険物安全協会
御前崎市危険物安全協会
掛川市危険物安全協会

（優良危険物取扱者）

松 永 隆 之

静岡市防災協会



中島博康会長挨拶



表彰状授与式の様子

(3) (一社)静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(保安功労者)

石 井 孝	田方防火協会
遠 藤 雄一郎	三島市防火協会
白 砂 伸 之	長泉町防火協会
小 林 亘	御殿場市小山町防火安全協会
深 澤 鉄 夫	静岡市防災協会
杉 山 公 司	静岡市防災協会
鈴 木 和 雅	島田・北榛原地区危険物安全協会
金 原 正 直	袋井保安管理協会
荒 川 達 也	磐田市危険物安全協会
渥 美 化 文	浜松市防災協会

(3) (一社)静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良事業所)

伊豆下田生コン株式会社	下田地区危険物安全協会
住友理工株式会社富士裾野製作所	裾野市防火協会
株式会社ニヤクコーポレーション関東支店 田子の浦事業所	富士市防火協会
テルモ株式会社 愛鷹工場	富士宮市防火安全協会
合同酒精株式会社 清水工場	静岡市防災協会
三和化成工業株式会社 静岡工場	志太危険物安全協会
山岸運送株式会社	島田・北榛原地区危険物安全協会
ウシオケミックス株式会社	御前崎市危険物安全協会
フジオーゼックス株式会社 本社・静岡工場	菊川市危険物安全協会
ヤマハモーターパワー・プロダクツ株式会社	掛川市危険物安全協会

(3) (一社)静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良取扱者)

高 橋 政 志	下田地区危険物安全協会
原 泰 二	東伊豆町危険物安全協会
濱 野 俊 明	伊東市危険物安全協会
後 藤 万里子	熱海市防火協会
石 渡 延 人	田方防火協会
土 屋 五十洋	沼津市防火協会
小 川 健 二	清水町防火協会
高 橋 尚 典	三島市防火協会
山 田 佳 一	長泉町防火協会
菊 池 敬 厚	裾野市防火協会
工 藤 智 洋	御殿場市小山町防火安全協会

(3) (一社)静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良取扱者)

伊	藤	一	成	富士市防火協会
引	地	光	政	富士宮市防火安全協会
木	村	匡	孝	静岡市防災協会
秋	山	佳	之	志太危険物安全協会
北	川	桑	聖	島田・北榛原地区危険物安全協会
桑	山	永	行	吉田榛原危険物安全協会
栗	野	栗	儀	牧之原市相良地区危険物安全協会
植	山	植	高	御前崎市危険物安全協会
戸	田	田	利	菊川市危険物安全協会
西	塚	塚	則	掛川市危険物安全協会
鈴	田	西	好	袋井保安管理協会
永	木	木	威	磐田市危険物安全協会
仁	田	鈴	智	浜松市防災協会
科	科	永	勝	湖西市危険物安全協会
		仁	一	
		也	也	

(4) (一社)静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状

(連合会理事・監事・地区協会会长)

土	屋	仁	前連合会理事
高	橋	広	前連合会理事・富士市防火協会会长
平	山	大	前東伊豆町危険物安全協会会长
伊	藤	毅	前清水町防火協会会长
植	松	久	前三島市防火協会会长
黒	川	健	前長泉町防火協会会长
三	好	英	前裾野市防火協会会长
山	本	裕	前富士宮市防火安全協会会长
池	田	郎	前志太危険物安全協会会长
高	橋	敦	前吉田榛原危険物安全協会会长
大	橋	美	前掛川市危険物安全協会会长
	橋	宏	
		彦	
		行	

(4) (一社)静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状

(地区協会事務局前担当者)

宮城島	直	伊東市危険物安全協会
江	間	熱海市防火協会
稻	葉	沼津市防火協会
岩	崎	清水町防火協会
長	倉	清水町防火協会
加	藤	長泉町防火協会
	智	
	明	

(4) (一社)静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状
(地区協会事務局前担当者)

市川順一
石川晃久
岡本秀行
守屋寿彦

富士市防火協会
島田・北榛原地区危険物安全協会
掛川市危険物安全協会
湖西市危険物安全協会

(4) (一社)静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状
(連合会主催保安講習会講師)

遊佐昭三
石切山一哲
涌井悠介
青木桂子
田中裕基
飯田紳司

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部
静岡市消防局
静岡市消防局
静岡市消防局
静岡市消防局
御前崎市消防本部



知事表彰授与



会長表彰授与



知事表彰受賞者



会長表彰受賞者

静岡県知事表彰

○保安功労者

井上 吉勝

井上玩具煙火株式会社 代表取締役
島田・北榛原地区危険物安全協会 理事



このたびは、平成30年11月21日（水）に開催されました表彰状授与式におきまして、静岡県知事より知事表彰を賜り、誠にありがとうございました。

これもひとえに、（一社）静岡県危険物安全協会連合会様と島田・北榛原地区危険物安全協会様並びに会員皆様方のご指導、ご支援の賜物と心よりお礼申し上げます。

弊社は、昭和元年に創業し、昨年創業90周年、会社設立65周年を迎えることができました。私は、昭和63年に入社して以来30年近く危険物の取扱に従事しております。この間において、危険物を取り扱う会社として、危険物の取扱に起因する特筆すべき事故もなく現在に至っています。

弊社は、私の祖父が、井上玩具煙火(株)の前身である玩具卸業と花火製造業の井上商店を創業しました。創業後、昭和2年に関東大震災があり、世界は世界大恐慌に突入しました。昭和14年には、第二次世界大戦が開戦し、戦時中はもとより、敗戦後においても花火の製造ができない時期がありました。その後、日本は戦後の復興期を迎え、昭和25年には火薬類取締法が施行されました。それを契機に昭和27年に井上玩具煙火(株)を設立し、現会長が花火を中心とした事業に大きく舵を切りました。日本経済の高度経済発展期の波にのり、事業を着実に伸ばしてきました。当時は米国にも製品の輸出をしていました。

安定成長期には、本社工場だけでは手狭になり、島田市内に工場並びに配送センターを新設し事業所も拡大してまいりました。しかし、日本経済のバブル崩壊後は、我々の業界にもかなりの影響が出始めてきました。デフレとともに円高不況も重なり中国から今まで以上に安い花火が入り込み、弊社にも不況の波が押し寄せてきました。しかし、その間も危険物を取り扱う会社として、何事に対しても安全第一の精神で事業を展開し、不況のあおりを受けつつも困難な時期を乗り越え事業を継続して来ることができました。現在では、花火以外の火工品の分野の製品の製造も手がけております。また、米国への輸出を再開することができ、規模は小さいながらもおかげさまで、グローバルな仕事を手がける会社までに成長することができました。

今回の表彰を機に、今後もより一層、安全管理に力を注ぎ、全社一丸となって危険物災害防止に努めてまいりることをお誓い申し上げ、今回の受賞のお礼に代えさせていただきます。

誠にありがとうございました。

静岡県知事表彰

○保安功労者

大谷 豊

株式会社J一オイルミルズ浅羽工場 工場長
袋井保安管理協会 副会長



この度、危険物保安功労者として静岡県知事表彰の受賞を賜り、誠にありがとうございます。

私は現事業所にて危険物取扱を始めて20年余りの間、危険物の安全管理に努めてまいりました。正直皆様の模範になるような特筆すべき業績はありませんが、これまで大きな事故や違反もなくここまでやってこられたことが評価されたとの認識で、あらためて「継続は力なり」と感じた次第です。これもひとえに静岡県危険物安全協会連合会様と、袋井保安協会の皆様方のご指導、並びに会員の皆様方のご協力の賜物と感謝いたします。

世間においてはコンプライアンスやガバナンスといったことが呼ばれるようになって久しいですが、私共製造業においても10年前とは比較にならないほどの高い水準での管理が社内外で求められるようになってきており、一方では所謂「団塊の世代」と呼ばれる先輩方が現役を退かれることによる技能伝承をはじめとするマンパワー不足の問題もあり、私たちを取り巻く環境は年々厳しくなってきております。

私に残された時間も決して多くはありませんが、これからも危険物を取り扱うものとして後進の指導とより一層のリスク管理に努め、危険物の保安管理に貢献していく所存です。

静岡県危険物安全協会連合会様の益々のご発展と、関係者の皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、受賞のお礼の言葉とさせていただきます。この度は誠にありがとうございます。

静岡県知事褒賞

○保安功労者

稻葉 智之

靈友会弥勒山運営局総務部
東伊豆町危険物安全協会 会長



この度、平成30年11月21日（水）に開催されました表彰状授与式におきまして静岡県知事褒章を受賞するという身に余る栄誉を賜りましたことは、これもひとえに静岡県危険物安全協会並びに東伊豆町危険物安全協会の事務局の皆様方、関係各位のご支援、東伊豆町危険物安全協会会員の皆様のご指導の賜物と厚くお礼申し上げます。

私は平成2年1月16日に危険物免状の交付を受けて以来、今日に至っていますが、この間、地下タンク貯蔵所や給油取扱所などの取り扱い管理及び、防災などについて常に問題意識を持ち、今まで無事故で過ごすことができました。これは、ひとえに皆様の協力があっての事だと思っております。

今年5月の東伊豆町危険物安全協会の総会において、会長に就任したと同時に、責任の重さを感じており、私自身は皆様の支えがあってのことだと思っています、今後も精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

最後になりますが、危険物を扱っていることを肝に銘じるとともに、お礼の挨拶とさせていただきます。

静岡県知事褒賞

○保安功労者

向井 和之

株式会社向井商店 代表取締役（熱海市防火協会）



この度、平成30年11月21日に開催されました表彰状授与式において、危険物取扱保安功労賞として静岡県知事褒賞を賜り、身にあまる光栄に存じます。

静岡県危険物安全協会連合会及び熱海市防火協会会員皆様方の高配の賜と深く感謝申し上げる次第でございます。

危険物の業務に携わり47年、又消防団にも16年間お世話になりましたので防火に対しましては人一倍神経を使ってきた気がします。

幸いこれまで無事故で営業が出来ました事は静岡県危険物安全協会連合会、熱海市防火協会、の御指導のたまものと感謝申し上げます。

今後も受賞に恥じないよう関係各位の御指導、御鞭撻をいただき努力していきたいと思います。

最後になりますが、静岡県危険物安全協会連合会及び熱海市防火協会の益々の御発展と関係各位の皆様方の御健勝をお祈り申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

静岡県知事褒賞

○優良事業所

静岡資材株式会社 藤枝販売支店（志太危険物安全協会）



この度、平成30年11月21日に開催されました、静岡県危険物安全協会連合会の表彰状授与式におきまして、県知事より「優良事業所」として褒賞を頂き、心から厚く御礼申し上げます。これもひとえに静岡県危険物安全協会連合会並びに、志太危険物安全協会関係者各位の平素からのご指導、ご支援によるものと感謝申し上げます。

弊社の設立は昭和28年、茶産業への燃料供給が主な業務でした。その後、高度経済成長の時代が到来し、モータリゼーションの発展につれ、ガソリンの需要が急激に増え、弊社も産業用燃料とあわせて、SSの運営、LPGの販売まで業務を拡大して参りました。地域社会に貢献するとともに、「お客様に真から喜ばれる」ことを経営理念に、事業を展開しております。危険物施設につきましては、屋外タンク貯蔵所、給油取扱所、一般取扱所を管理し、従業員の危険物に対する認識と意識の高揚を図り、安心・安全な事業所を目指し、危険物取扱者資格の取得や保安講習の受講など法令を遵守する意識を強く持って、危険物取扱業務に従事しています。

この度、栄誉ある「静岡県知事褒賞」を頂き、この賞に恥じぬよう従業員一同が一層日々の安全を意識し、管理を徹底して参ります。今後とも皆様方のご指導の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

静岡県知事褒賞

○優良事業所

株式会社中部プラントサービス 原子力本部（御前崎市危険物安全協会）



この度、「静岡県知事褒賞 優良事業所」という栄えある賞を賜り、大変光栄に存じております。

弊社浜岡事業所におきましては、危険物施設として屋内貯蔵庫1棟と少量危険物倉庫4棟を管理しており、いずれの施設も海に近いため、塩害対策も含め計画的に点検・補修を実施することで適切な維持管理に心掛けるとともに従業員研修を定期的に実施することで力量確保に努めております。また、静岡県危険物安全協会連合会様や御前崎市危険物安全協会様の行事等にも積極的に参加させていただいております。

昭和48年の弊社浜岡事業所の業務開始以降、今日まで危険物に関する無事故の継続および消防本部様の毎年の立入検査における指摘なしの継続等がでておりますのも、ひとえに静岡県危険物安全協会連合会様はじめ関係者の皆様のご指導の賜物と心より感謝いたします。

弊社従業員一同、今回の受賞を励みとして、新たな気持ちで一層の研鑽を重ね、危険物の安全対策に取り組み無事故を継続するとともに、防火意識の更なる浸透や保安技術の向上に取り組んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

静岡県知事褒賞

○優良事業所

藤森工業株式会社 掛川事業所（掛川市危険物安全協会）



この度、平成30年度「優良事業所 静岡県知事褒章」の表彰をいただき、誠にありがとうございます。これもひとえに掛川市消防本部、並びに掛川市危険物安全協会関係者の平素からのご指導、ご支援によるものと感謝申し上げます。

弊社は昭和45年に当時の静岡県小笠郡大浜町に藤森工業(株)大浜工場として竣工しました。竣工当初はクロスシート「ハイピー®」の製造や、紙に剥離剤を塗工した剥離紙「バイナシート®」の製造を行っておりましたが、平成に入りフィルムに剥離剤を塗工した剥離フィルム「フィルムバイナ®」を主に製造するようになり、現在の主力製品となっております。

剥離剤の塗工の仕事が増えたことにより、危険物の取扱量も増加し、社会的責任も大きくなりました。従業員に対しては、積極的に危険物取扱者の資格を取得させ、保安講習への参加を継続させるなど、危険物に係る遵法と災害の未然防止に日々取り組んでおります。

今回の表彰を機に企業としての責任を全うするため、無事故で安全な体制づくりを更に進めて参りますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

平成30年度危険物管理技術研修会講演

日時：平成30年11月21日（水） 14：15～15：45
会場：グランシップ11階 会議ホール・風

「自ら考え、失敗事例から学ぶ危機管理」

東京経済大学名誉教授

よし い ひろ あき
吉井博明氏



危機・事故に際しては、人が対応を失敗することによって被害が発生・拡大することが多い。

- ・このような失敗事例には、学ぶべき教訓が多く含まれており、教訓の宝庫とも言える。
- ・しかし、失敗事例の正確な記録は意外と少ない。
- ・ここでは、代表的な失敗事例を紹介しつつ、その教訓をどう学ぶべきかを考えるとともに、失敗事例の当事者を我が身に置き換えて考えること（図上演習～特にイメージトレーニング）によって、危機・事故対応のノウハウを学ぶ。

プロフィール

1943年生まれ。1971年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了。文教大学情報学部助教授、同教授、東京経済大学コミュニケーション学部教授を経て、現在、東京経済大学名誉教授。中央防災会議専門委員、消防審議会会長等を歴任。2009年防災功労者内閣総理大臣表彰 受賞。専門は災害情報論。著書に「都市防災」（講談社、1996年）、「災害社会学入門」（弘文堂、2007年）、「災害危機管理論入門」（弘文堂、2008年）、「図上演習入門」（内外出版、2011年）などがある。



危険物管理技術研修会の様子



吉井博明講師

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



『休日の過ごしかた』

(一社) 静岡県危険物安全協会連合会 理事
富士市防火協会 会長

渡 辺 智 明

私は休日だけですが富士市富士川第1中学校の女子ソフトテニス外部コーチをしています。小学生のころから面倒見てきた子供たちが中学生になり継続しています。その子供たちが、先日の平成30年中体連で団体、個人ともに富士市で優勝することができました。強豪チームがひしめく中、また猛暑のなかでの悪戦苦闘の末につかんだ優勝でした。

テニスで勝つには技術テクニックも必要ですが、さらに重要なスキルとして精神面の強さがより重要です。いわゆるメンタル的に強くないと勝てません。テニスは体を動かしながら将棋のように相手の陣形を崩すスポーツでもあると考えています。打つボールスピードが遅くとも、相手の陣形を崩し空いた空間にコントロール良く打ち込むことでポイントを取ることができます。

私が、子供たちに指導している時にいつも口にしている言葉として『テニスを楽しみながらやろう』があります。“好きこそものの上手なれ”という表現をよくされますが、まさにその通りだと思います。特に試合となると子供たちは頭の中がカッカと興奮することが多々あります。そのような状況で技術的アドバイスなど役に立ちません。その時コーチとして心掛けていることとして『冷静にさせる』です。しかし、いくら冷静になれと言っても興奮している子供たちには届きません。そこで舌を"バー"と出させ『あっかんバー』をやらせます。これは全米バスケット-シカゴブルズで有名な『マイケル・ジョーダン』が試合中に行っていた緊張をほぐす方法だそうです。子供たちも『あっかんバー』作戦で逆転したテニスの試合も何回もあったかと思います。

近年、河川氾濫による非常事態、地震、大雨による重大災害が多発している日本列島です。世界各地でも想定外な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。そのような災害を極力想定し抑制する努力は継続しますが、防ぐことができない災害は必ず発生してしまいます。したがって、発生してしまった災害をいかに減災し早く復旧するかがキーポイントとなります。

そこで、復旧までを耐えるメンタル面の強さと、復旧した後にできるだけ後遺症を残さない精神面の強さが必要となります。前述したような外部コーチでの指導を通じて微力ながら精神的に強い子供を育成することと、その思いをその次の代に指導していく後継者を育てることが出来ていたらと考え、休日はテニスのコーチを楽しんでおります。



◆◆◆ 国の動き ◆◆◆

平成29年危険物関係法令の改正概要と主な通知

参考資料：(一財)全国危険物安全協会保安講習テキスト（H30年版）

1 平成29年危険物関係法令の改正概要

No.	改 正 項 目 及 び 概 要	公 布・施 行 日
1	●圧縮天然ガススタンドのディスペンサー及びガス配管を給油空地に設置する場合の技術上の基準等に関する事項（危規則第27条の3の関係） 給油取扱所において、圧縮天然ガススタンドのディスペンサー及びガス配管を給油空地に設置し、給油と圧縮天然ガス充填のための停車スペースを共有化する場合の技術上の基準を定めるべく、規則の一部が改正された。	公布日
		平成29年1月26日
		施行日
2	●指定物質の改正に関する事項 危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省で定める物質及び数量を指定する省令（平成元年自治省令第2号）第2条の表から、「メタバナジン酸アンモニウム及びこれを含有する製剤のうち、メタバナジン酸アンモニウム0.01%以下を含有するもの」が消防活動阻害物質から除外された。	公布日
		平成29年6月27日
		施行日
		平成29年6月27日

2 平成29年中の主な通知一覧

No.	通 知 の 名 称 及 び 概 要
1	●「圧縮天然ガス等充てん設備設置給油取扱所の技術上の基準に係る運用上の指針について（通知）」の一部改正について （平成29年1月26日 消防危第31号） 圧縮天然ガス等充填設備設置給油取扱所に係る位置、構造及び設備の技術上の基準等については、「圧縮天然ガス等充てん設備設置給油取扱所の技術上の基準に係る運用上の指針について（通知）」（平成10年3月11日付け消防危第22号。以下「22号通知」という。）により運用している。 圧縮天然ガス等充填設備設置給油取扱所において圧縮天然ガス等のディスペンサー及びガス配管を設置する際は、給油空地及び注油空地以外の場所とすることとされていたが、危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（平成29年総務省令第3号）が公布・施行され、一定の措置等を講じた場合、圧縮天然ガスのディスペンサー及びガス配管を給油空地に設置することができるとされたことから、22号通知の一部を改正した。
2	●危険物等に係る事故防止対策の推進について （平成29年3月24日 消防危第67号） 平成28年3月に危険物等事故防止対策情報連絡会（以下「連絡会」という。）で決定した「危険物等に係る事故防止対策の推進について」に基づき、毎年度「危険物等事故防止対策要領」を策定し、関係機関が一体となった事故防止等を推進しているところであるが、連絡会において事故の深刻度を評価する指標の決定等を踏まえ、「危険物等に係る事故防止対策の推進について」が改正された。また、「平成29年度危険物等事故防止対策実施要領」（以下「実施要領」という。）が示され、連絡関係者の個別の実施要領がとりまとめられた。
3	●硫化鉄に係る火災事故防止対策の徹底について （平成29年6月16日 消防危第135号） 平成29年1月、和歌山県有田市の製油所において、屋外貯蔵タンクの底板上に堆積したスラッジのクリーニング作業時に、スラッジ内の硫化鉄の酸化・発熱による自然発火が原因と考えられる火災事故が発生した。近年、同様の硫化鉄の酸化・発熱が原因とされる火災事故が散見されている。 これらの火災事故の要因として、硫化鉄の特性等に対する関係者の認識不足等が考えられることから、下記の事項について、硫化鉄の発生する可能性のある製油所や油槽所等の危険物施設の関係者に周知徹底することとされた。 1 硫化鉄は乾燥により発火しやすい状態となる可能性があり、この状態で大気と接触すると、酸化発熱が進み自然発火に至る危険性があること。 2 スラッジ清掃時やマンホールの開放時など、硫化鉄が存在する部分が大気に触れる可能性がある場合には、作業前に当該部分を散水等により十分に湿潤させること。 3 危険物の取扱工程又は設備等において硫化鉄が発生するおそれのある箇所を把握し、点検・維持管理の徹底を図ること。

平成30年度 危険物等事故防止対策実施要領

危険物等事故防止対策情報連絡会

1 推進期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

2 重要と考えられる実施事項及びその具体的な内容

重要と考えられる実施事項及びその具体的な内容は別添2-1（省略）のとおり。なお、平成30年度に実施予定の取組事例のうち、重大事故の発生防止に係る主な事例を以下に示す。

○ 深刻度評価指標による分析結果を踏まえた取組

- ・ 廃棄物処理施設や給油取扱所の重大事故発生防止対策指導を行うほか、「平成29年度危険物施設における火災および流出事故の調査分析」で示された業態別の重大事故発生状況を踏まえ、一定規模の製造所及び一般取扱所に対し、危険物安全週間を中心に講習会の開催や立入検査等により、重大事故防止対策指導を実施する。（東京消防庁）
- ・ 学識経験者による委員会において重大事故に関する調査審議を行うとともに、深刻度評価指標に基づき分類した重大事故についての内容分析及び事業者の取組みを踏まえ、重大事故防止に関する効果的な対策を検討する。（川崎市消防局）
- ・ 給油取扱所の流出事故について監視不十分を原因とする重大事故が多いことから、「荷卸し時の安全対策」統一キャンペーンを実施し、荷卸し時の立会いの徹底を図る。（全国石油商業組合連合会、石油連盟、全日本トラック協会）

○ 重大事故の発生を防止するためのハード・ソフト対策

- ・ 過去の重大事故を踏まえ、散水設備の追設等、必要な設備対策を進めると共に、石炭搬送コンベア等の重要設備に対し状態監視を強化する等、異常兆候の早期発見に努める。（電気事業連合会）

3 事故防止対策を実施するうえでの留意事項

平成元年から平成28年の間の危険物施設における重大事故等の発生状況から、危険物等に係る重大事故（注）の発生防止対策の考え方等をとりまとめたことから、これらに十分留意し、重大事故となるおそれの高い事故の発生抑止及び重大事故への拡大抑止に重点を置いた取り組みを行っていく必要がある。

また、危険物等に係る重大事故の発生を防止するためには、「業種を超えた事故の情報の共有」を図るとともに、事業者が「危険物等事故防止安全憲章」及び「石油コンビナート等における災害防止対策検討関係省庁連絡会議報告書」の内容や東日本大震災の状況を踏まえ、自らの事態、体制等に応じた安全確保方策を確立することが重要であることに鑑み、下記の事項に留意して事故防止対策を講ずる必要がある。

（注）1つ以上の深刻度評価指標で深刻度レベル1に該当する事故

○ 保安教育の充実による人材育成・技術の伝承

装置の設計思想及びマニュアルの手順の背景にある原理原則の理解（know-why）の促進によるリスクアセスメントや、リスクに気づく感性のある人材、事故を見据えた設備等の定期点検及び日常点検を行う人材、安全推進の中核となる人材等を計画的に育成するため、保安教育を充実させるとともに、保安に関する知識・技術の伝承を徹底するため、過去の事故事例や良好事例の共有、実効性が見込まれるそれらの活用方策の確立、その他火災等の模擬体験、外部機関を活用した教育等を行うことが重要。

○ 想定される全てのリスクに対する適時・適切な取組

社内外の事故情報や安全対策情報を収集し保安対策に活用するとともに、コミュニケーションや情報共有を通じて、運転部門、保全部門、設計部門等の各部門間における連携を強化することにより、適時・適切な運転、保全等を図ることが重要。

また、現場における適切な安全管理の枠組の構築、さらには、非定常作業時、設備等の経年劣化も踏まえた点検、整備時等をも想定したリスクアセスメントを適時徹底して行い、リスクに対して適切に対応するとともに、残存リスクの認識とそれらに対する適切なマニュアルや体制を整備し、危険物の流出事故等を未然に防ぐことが重要。

○ 企業全体の安全確保に向けた体制作り

経営層が協力会社も含めた現場とのコミュニケーションを強化し、現場作業者からの情報を積極的に収集するとともに、保安に対する強い意識を持ち、安全優先の方針を社内に発信することにより、現場で必要とされる安全確保方策が適切に実施される体制を整備することが重要。

また、ヒヤリハット事例等の検討、必要に応じて第三者による客観的な評価や社外との情報交換等を活用することにより、多角的かつ継続的に安全確保方策の充実に努めることが重要。

○ 地震・津波対策の推進

地震想定や津波想定を踏まえたハード面及びソフト面双方における地震・津波対策の再検証を行うとともに、被害を最小限にするため、また、被害の確認・応急措置、臨時的な対応、復旧対応等を適切に実施することができるよう、平常時から、事前計画の作成や訓練等を通じた習熟度の向上を図ることが重要。

4 危険物関係業界における平成29年度の取組事例（参考）

平成29年度に危険物関係業界が実施した取組のうち、参考となる主な事例を以下に示す。

- ・ 重大事故防止のため、危険源の特定やリスクの大きさの評価（リスクアセスメント）を行い、リスクの大きさに応じて適切に資源を投入し、安全の効果的な改善を継続している。（石油連盟）
- ・ 新たな技術の積極的な評価と活用（石油化学工業協会）
 - ・ 電子申し込みシステムの活用
 - ・ パトロールにおける電子タブレットの活用
 - ・ ソフトセンサーの利用
 - ・ プラント異常検知システムの検討
 - ・ 高感度赤外線式ガス監視システムの検討
- ・ 石炭搬送コンベア火災等、過去の事故でも長期発電停止を要した事故への備えとして、他社事例も教訓としつつ、コンベア用温度センサーや散水設備を設置する等の対策を進めると共に、これら各種設備に設置しているセンサーにより、温度・圧力・CO濃度等の運転データを遠隔から常時監視し、重大事故につながる異常兆候の早期検知を図った。（電気事業連合会）

以上

震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱い等の安全対策と手続

情報提供：総務省消防庁危険物保安室

震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱い等の安全対策及び
手続きについて(平成25年10月3日付け消防災364号・消防危171号)

FDMA
住民とともに

※震災時等に備え、事前計画の策定が重要

実施主体

- 仮貯蔵・仮取扱いが想定される事業者は、必ず事前計画を策定しておくこと
- 地方公共団体の防災部局も上記事前計画の策定主体となる場合も想定されることから、このような場合にも積極的に事前計画を策定しておくこと

相談 ※仮貯蔵・仮取扱いの手続きも含めて

消防機関

参考

- 震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱い等の安全対策及び手続きに係るガイドライン(実施計画書例付)
- 震災時等における被災地でのガソリン等の運搬、貯蔵及び取扱上の留意事項

震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱い手続きの
迅速化を図るために検討しておくべき事項

FDMA
住民とともに

【危険物の仮貯蔵・仮取扱いの実施計画】

事業者、官公庁等の危険物の仮貯蔵・仮取扱いの申請者と消防機関との間で事前協議すべき事項

- 事前に想定される危険物の仮貯蔵・仮取扱いに応じた安全対策
- 必要な資機材等の準備方法等の具体的な実施計画
- 震災時等に講ずべき事務手続き

【電話による承認】

震災直後等により左図の状況にある場合、事後等に現場確認を行うことにより右の対応が可能

- 消防機関へ仮貯蔵・仮取扱いの申請を直接行ういとまがない
- 交通手段の確保が困難

事前協議済のものや、消防機関側で定型化された安全対策を指導可能なものは、電話等による消防機関への申請が可能

【通信手段等の確保が困難な場合の手続き】

適切な手続きを行わずに緊急避難的な危険物の貯蔵・取扱いを行っている場合、速やかな安全確認、必要に応じて的確な防火指導等を行い、安全性を確保した上で危険物の仮貯蔵・仮取扱いを承認

【繰り返し承認】

特殊要因により10日間を超える臨時的な危険物の貯蔵・取扱いが必要な場合、1回の承認期間は10日以内とした上で、必要な期間に限った繰り返し承認は可能だが、定期的に現場確認を行い、安全対策の徹底を図ることが必要

○ドラム缶等による危険物の集積に係る火災危険性の評価

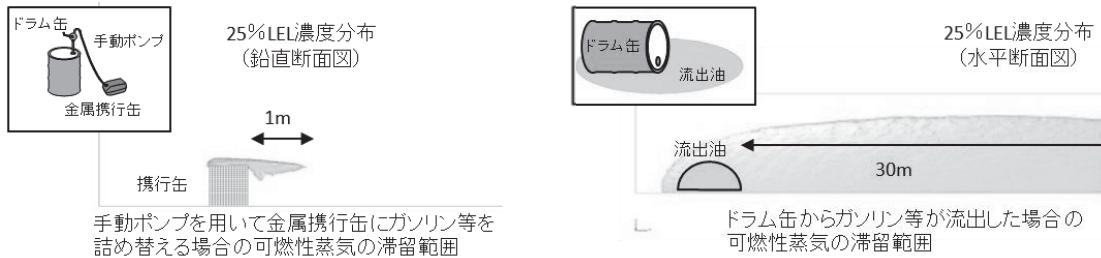
- 危険物が容器に収納されている状態では流出の危険性は小さいが、詰め替え作業時には流出・火災の可能性を考慮すべき。
- 容器が火炎等にさらされると破裂・流出する可能性があるが、屋外貯蔵所と同様の保安距離、保有空地を確保することにより、周囲への影響は限定される。
→ ドラム缶から危険物の詰め替え等の作業を行う場所と、ドラム缶の集積場所とは離すことが必要。

○ドラム缶等によるガソリン等の貯蔵・取扱いに係る可燃性蒸気の滞留シミュレーション

- 可燃性蒸気の濃度が高くなる可能性のある範囲は、手動ポンプを用いたガソリン等の詰め替え作業では最大半径1mであるが、ドラム缶転倒等によりガソリン等が流出した場合を想定すると最大30mに及ぶ
→ 流出事故が発生した場合には、流出量に応じた応急措置を講ずることが必要。

○ 静電気による出火危険性およびその対応

- ガソリン等への静電気の帯電量を小さくするためには、流速を落とすこと、パイプを容器底につけて静かに注油すること、一定時間静置することが有効。
- 人体への静電気の帯電量を小さくするため、静電安全靴や静電作業服の着用等が有効。
- 静電誘導による放電を防止するため、周囲にある容器、ポンプ部品等は可能な限りアースしておくこと。



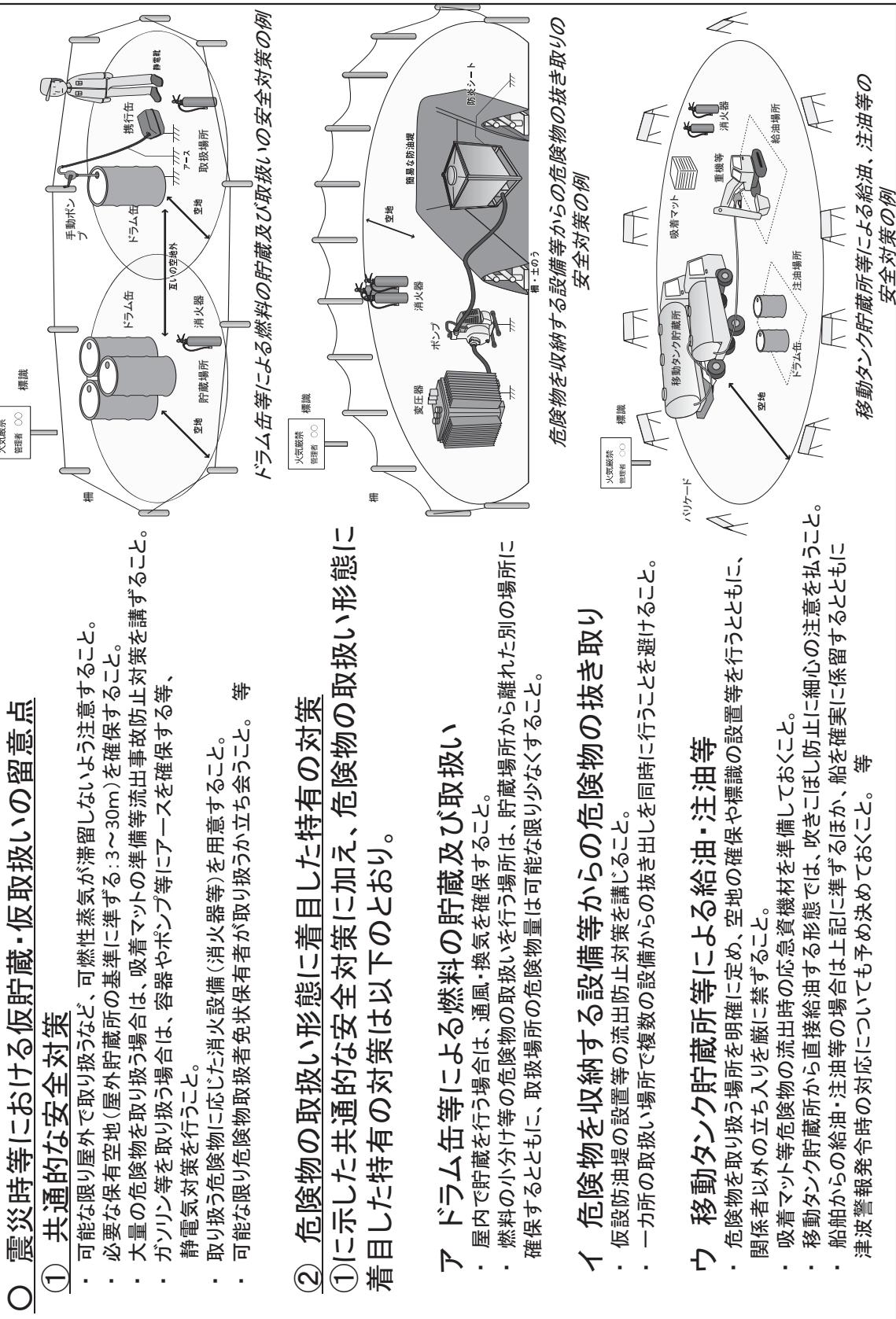
震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱いの安全対策

- 1. 危険物の取扱場所(可燃性蒸気対策)** 可能な限り屋外で行うこと 屋内でも換気に注意すること
- 2. 保有空地の確保** 保有空地を確保すること(空地の幅、ロープ等の確保)
- 3. 標識等の設置** 標識・掲示板による注意喚起を行うこと
- 4. 流出防止対策** 危険物が拡散しない場所を選定すること 危険物の流出防止対策を講ずること
- 5. 火気使用の制限** 火気使用の厳禁を徹底すること
- 6. 静電気対策** アース確保、金属類存置禁止等 作業者の静電気対策 帯電しにくい取扱い
- 7. 消火設備の設置** 消火設備(消火器)の用意
- 8. 取扱場所の管理** 作業に無関係な者の立ち入り厳禁
- 9. 危険物取扱者の立会い等** 危険物取扱者による原則取扱い 専門知識を有する者による全体管理
- 10. 二次災害の発生防止** 余震発生、避難勧告発令時等の対応
- 11. 安全対策を講ずる上で必要な資機材等の準備** 必要な資機材等の調達先、手順等の事前調整

震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱いの安全対策(具体例)

○ 震災時等における仮貯蔵・仮取扱いの留意点

- ① 共通的な安全対策**
- 可能な限り屋外で取り扱うなど、可燃性蒸気が滞留しないよう注意すること。
 - 必要な保有空地(屋外貯蔵所の基準に準ずる:3~30m)を確保すること。
 - 大量の危険物を取り扱う場合は、吸着マットの準備等流出事故防止対策を講ずること。
 - ガソリン等を取り扱う場合は、容器やポンプ等にアースを確保する等、静電気対策を行うこと。
 - 取り扱う危険物に応じた消火設備(消火器等)を用意すること。
 - 可能な限り危険物取扱者免状保有者が取り扱うか立ち会うこと。等



② 危険物の取扱い形態に着目した特有の対策

- ①**に示した共通的な安全対策に加え、危険物の取扱い形態に着目した特有の対策は以下のとおり。

ア ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い

- 屋内で貯蔵を行う場合は、通風・換気を確保すること。
- 燃料の小分け等の危険物の取扱いを行う場所は、貯蔵場所から離れた別の場所に確保するとともに、取扱場所の危険物量は可能な限り少くすること。

イ 危険物を収納する設備等からの危険物の抜き取り

- 仮設防油堤の設置等の流出防止対策を講じること。
- 一ヵ所の取扱い場所で複数の設備からの抜き出しを同時にを行うことを避けること。
- 危険物を取り扱う場所を明確に定め、空地の確保や標識の設置等を行うとともに、関係者以外の立ち入りを厳に禁ずること。
- 吸着マット等危険物の流出時の応急資機材を準備しておくこと。
- 移動タンク貯蔵所から直接給油する形態では、吹きこぼし防止に細心の注意を払うこと。
- 船舶からの給油・注油等の場合には上記に準ずるほか、船を確實に係留するとともに、津波警報発令時の対応についても予め決めておくこと。等

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書(例)

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書(例)

1 目的

震災等により被災地においてガソリン等の燃料が不足した場合に災害復興支援車両等への燃料補給を行うことを目的とし、危険物施設以外の場所での一時的な貯蔵やドラム缶から手動ポンプ等を用いて金属携行缶への詰め替えを行い、仮設の燃料供給拠点として利用するために必要な事項を予め計画するものである。

2 仮貯蔵・仮取扱いをする場所

〇〇市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号 〇〇工場東側空地(コンクリート舗装)

3 仮貯蔵・仮取扱に使用する部分の面積

約360m²(15m × 24m)

4 詳細レイアウト

- 5 仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の類、品名、数量
第4類第1石油類(ガソリン)3,000リットル
- 6 指定数量の倍数
1.5倍

7 貯蔵及び取扱方法

- (1) 200リットルの金属製容器(ドラム缶)で貯蔵
- (2) 保有空地を6m確保
- (3) 貯蔵場所と詰め替え場所に6mの離隔
- (4) 高温になることを避けるため通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設置。また、取扱場所において、危険物が長時間炎天下にさらされないようにする。
- (5) 第五種消防設備10型粉末消火器3本を設置
- (6) 標識・掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起「危険物貯蔵・仮取扱所」、「品名・数量・倍数」、「火気厳禁」

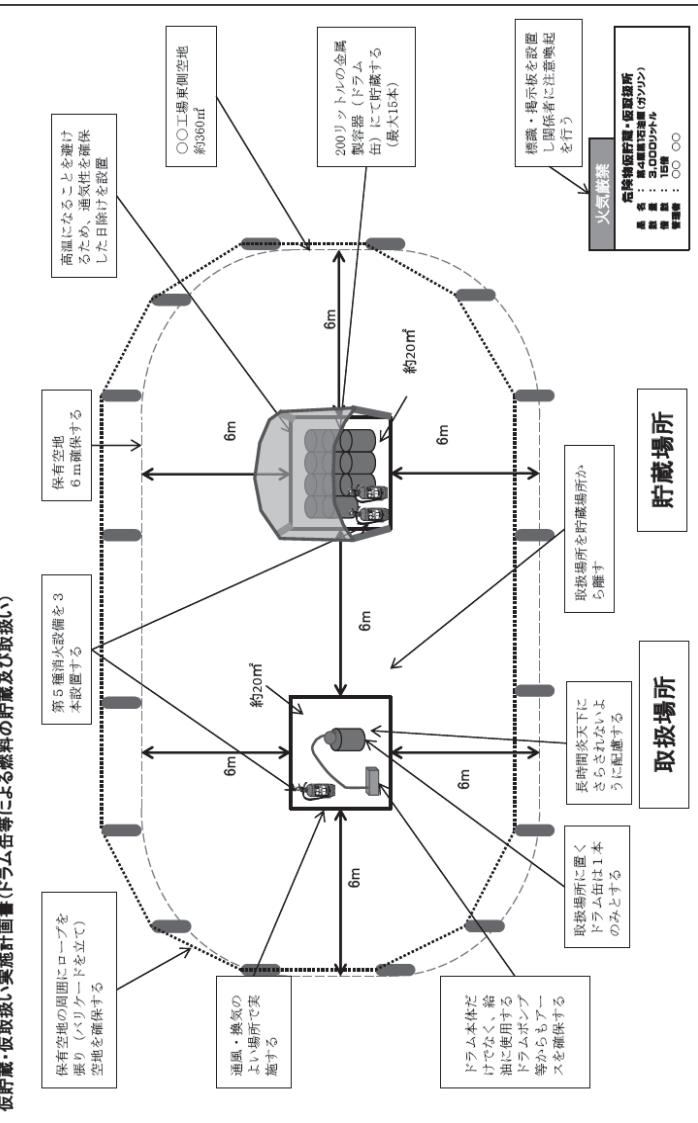
8 安全対策

- (1) ドラム本体、給油に使用するドラムポンプのアースを確保
- (2) 危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が実施
- (3) 危険物を取り扱う者は、静電安全靴を着用

9 管理状況

- (1) 保有空地の周囲にノリケードを立て、空地確保
- (2) 空地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難防止
- (3) 作業前後に点検を行い、その結果を記録
- 10 その他必要な事項
金属携行缶での給油は、この場所以外で行わない

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書(ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い)



☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



「清水町防火協会 会長就任にあたって」

清水町防火協会 会長

鈴木 靖（企画委員会委員）

私の勤務先は、自動車部品メーカーで主に自動車の配管を製造しており、清水町をはじめ静岡県東部に12ヶ所の工場と国内自動車メーカーの工場近くに14ヶ所のサテライト工場、また海外に16拠点の工場・営業所を有しております。私は入社以来ほとんどの期間を本社・工場の品質保証部門で勤務していましたが、4年前に総務部に異動し、清水町防火協会との関係が出来ました。そういう中で、防火、防災について考えて見ますと、やはり、決め事をしっかりと決め、それを確実に実行する事に尽きると考えております。

話は変わりますが、ここ数年の地球温暖化による異常気象の影響と思われます、気温の異常な上昇、また豪雨による自然災害も毎年発生してしまうような状況下で、自然の脅威に対する防災のあり方という事が、現在の日本の大きな課題のように思っています。大きな自然災害が起きてしまうと、必ず思い出すのが東日本大震災です。ある得意先の安全研修会で、所謂「釜石の奇跡」を導かれた片田敏孝先生（講演当時は群馬大学大学院理工学府教授、現在は東京大学総合防災情報研究センター特任教授）の講演を聞く機会がありました。先生は、2004年から釜石市の児童・生徒を中心とした津波防災教育に取組み、地域の災害文化としての災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の定着を図ってこれ、その活動が功を奏し、釜石市の中学生ほぼ全員約3千人が津波から避難できたという事でした。

聴講して思った事は、我々の企業、また個人としても、自らの意思で行動を選択し率先して行う事、主体的にリスクに備えるという点では、日頃の安全衛生活動にもつながる部分があると感じました。

昨年の県危連創立記念大会の記念講演の佐藤講師のお話とも、相通ずるのではないかと思います。

自然の力を止める事は難しいですが、せめて自分達の管理の仕方により防ぐ事の出来る災害については確実に無くして行きたい、という事が今の私の思いです。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



さとうきび列車に会いに

三島市防火協会 会長

山 本 良 一

いつか訪れてみたい風景、その地を訪問する機会にめぐりあえた。

成田空港よりタイペイ、シンガポール、と格安チケットの旅は3回の機内食を味わいようやく目的地であるスラバヤの空港に着陸した。

意外と日本よりさわやかな風と湿度である。スラバヤより車にゆられひたすら簡易舗装された直線道路を快調にとばす、山岳道路ではうなりをあげる前方の大型トラックを無理やり追い越す、やがて海沿いにあるシトーボンドのホテルにチェックイン、中庭のあるコテージ風の洒落たホテルである、クーラーの音を気にしつつ眠りについた。

早朝、コーランの音とともに目覚め、目的地である郊外の工場へ、1864年操業のパブリックグラ オレアン製糖工場は、オランダ植民地時代からすでに100年以上のあいだスティームエンジンを動力源として、現在も砂糖の生産を続けている。裏手に廻り待っていたのはやはり100年近く前に造られた、ドイツ蒸気機関車メーカー オーレンシュタインコッペル社製の蒸気機関車である。

ローリー（さとうきび搭載用貨車）を従え畑に出て行く、あとについて広大な畑のなかへ、収穫の時期が到来したさとうきびを満載したローリーが、仮設線路から水牛に引かれ本線にひっぱり上げられる、水牛もこの時とばかりに全身に力を入れる。やがて満載されたローリーがいくつも連なり、コッペルに牽かれた「さとうきび列車」がようやく組成され、線路幅700ミリのヘロヘロな線路をギシギシと音を立てながらゆっくりと工場へ引き揚げて行く。すでに、あたりは夕闇につつまれ太陽が沈む直前であった。

ようやく出会うことがかなった、想い出でに残る風景となった。



☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

1 危険物施設に係る火災等の事故発生件数

(年次別)

区分	25年		26年		27年		28年		29年	
	県	全国								
爆発	0	188	0	203	1	215	0	215	1	195
火災	2		1		1		6		2	
流出・漏洩	4	376	3	396	11	345	9	356	11	369
破損	0	177	0	219	0	173	0	179	0	193
その他	0		0		1		2		2	
計	6	741	4	818	14	733	17	750	16	757

2 近年における事故増加の主な要因と対策

①火災：一般取扱所、製造所、給油取扱所等における管理不十分・確認不十分等の人的要因

⇒日常的な点検や配管等の定期的な改修を行うことで、事故の未然防止に繋がる。

②漏えい：給油取扱所、地下タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所、一般取扱所等における危険物施設の老朽化等に伴う腐食・劣化の物的要因

⇒保安教育の実施や知識・技術の伝承を行うことで、事故の未然防止に繋がる。

①②に共通の対策⇒事故防止・安全確保の取組は経営層のリーダーシップのもと、事業者をあげて行うことが不可欠。

3 県内の状況

県内の危険物等に係る事故は、平成26年は6件（危険物施設4件、死亡0人、負傷0人）だったが、平成27年は15件（危険物施設14件、死亡1人、負傷1人）、平成28年は20件（危険物施設17件、死亡0人、負傷2人）と事故が増加している。

平成29年は、17件（危険物施設16件、死亡1人、負傷15人）の事故が発生している。

4 平成29年の県内の危険物等に係る事故

(平成29年1月～12月)

発生年月日	製造所等の区分	事故種別	事故概要	主原因	人的被害
不明 発見・覚知 H29.2.7	地下タンク貯蔵所	流出	地下貯蔵タンク注入管埋設部分の腐食による灯油の流出	腐食疲労等劣化	なし
H29.2.16	移動タンク貯蔵所	流出	移動タンクから少量危険物屋外タンクへ注油時、タンクの取り違えにより重油がオーバーフローした。さらに、防油堤の水抜口の閉め忘れにより一部が排水路へ流出	操作確認不十分	なし
H29.3.7	移動タンク貯蔵所	流出	移動タンク貯蔵所から灯油が漏洩し、道路上に流出	操作未実施	なし
※発生不明 覚知 H30.3.16	その他(運搬)	流出	新東名下り掛川PA側道における交通事故に伴う危険物漏洩	交通事故	負傷1人

発生年月日	製造所等の区分	事故種別	事故概要	主原因	人的被害
H29.4.10	屋外タンク貯蔵所	流出	屋外タンクに送油中、タンク受入れ弁を閉鎖したことにより、受入れ配管のフランジ部から灯油が漏洩	操作確認不十分	なし
発生不明 発見 H29.6.15	屋外タンク貯蔵所	流出	屋外タンク貯蔵所の送油管の腐食による重油の流出	腐食疲労等劣化	なし
H29.8.7	一般取扱所	流出	ボイラへのC重油供給の一部配管に、腐食により生じた穴からC重油流出	腐食疲労等劣化	なし
H29.9.1	一般取扱所	流出	ボイラ用サービスタンクから重油がオーバーフローし施設内に流出	操作確認不十分	なし
H29.10.4	一般取扱所	火災	一般取扱所内の圧延機から出火し、同機械及びダクト内を焼損	故障	なし
H29.10.12	一般取扱所	流出	移動タンク貯蔵所の誤発進による危険物の流出	操作確認不十分	なし
H29.10.14	移動タンク貯蔵所	流出	移動タンク貯蔵所の横転事故による安全装置からの軽油の流出	交通事故	なし
H29.10.17	給油取扱所	その他	給油取扱所内の軽油地下貯蔵タンクに地下水が混入	腐食疲労等劣化	なし
H29.11.3	屋外タンク貯蔵所	火災	屋外タンク解体作業中、残留していた軽油及びスラッジから出火	施工不良	なし
H29.11.13	給油取扱所	その他	給油取扱所で誤注入された灯油入りレギュラーガソリンの販売(コンタミ)	操作確認不十分	なし
H29.11.29	移動タンク貯蔵所	流出	東名高速道路下り線で移動タンク貯蔵所が横転し積載していた灯油が流出	交通事故	なし
H29.12.1	一般取扱所	爆発	一般取扱所において製造工程中に、何らかの原因により爆発し、工場一棟が全焼	調査中	死亡1人 負傷14人
H29.12.30	地下タンク貯蔵所	流出	地下タンク貯蔵所の遠方注入口配管の腐食による重油の漏洩	施工不良	なし
計17件（爆発1件、火災2件、流出12件、その他2件） (危険物施設の事故16件：爆発1件、火災2件、流出11件、その他2件)					死亡 1人 負傷 15人

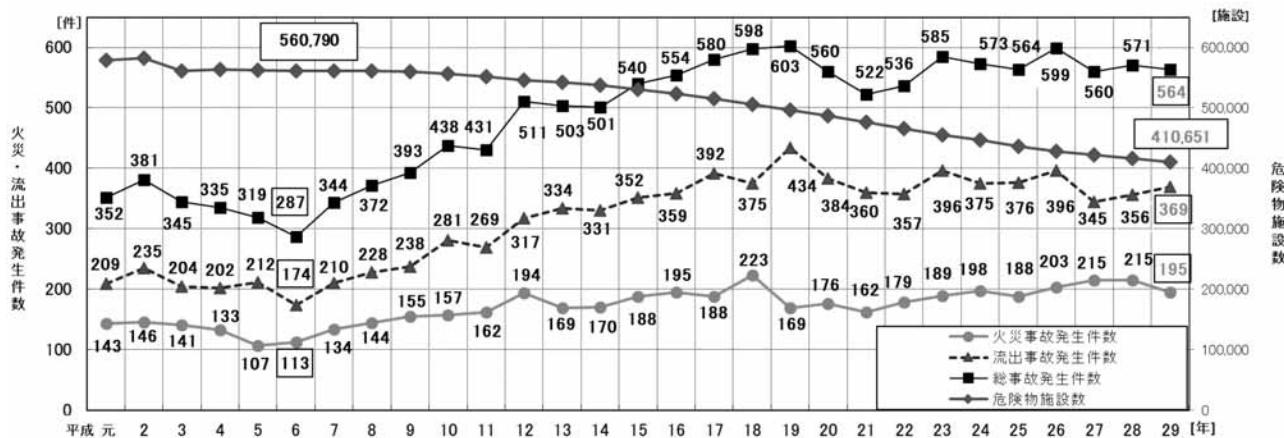
(※は危険物施設以外の事故)

(参考資料：静岡県消防保安課)

(参考 全国危険物施設の事故状況)

消防庁報道資料 「平成29年中の危険物に係る事故の概要」より

危険物施設における火災・流出事故発生件数及び危険物施設数の推移



(注) 事故発生件数の年別の傾向を把握するために、震度6弱以上（平成8年9月以前は震度6以上）の地震により発生した件数を除いています。

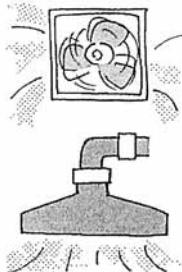
コラム

静電気事故を防ぐポイント

(一財) 全国危険物安全協会保安講習テキスト(H30年版)より

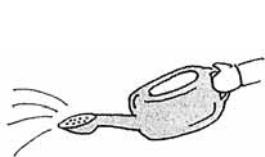


○作業服の帯電防止
-靴、手袋、帽子、ヘルメットなど-

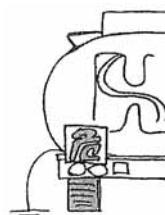


○人体の除電

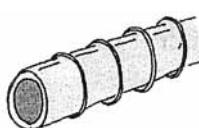
○作業室の換気、排気



○湿度の管理



○アース線による接地



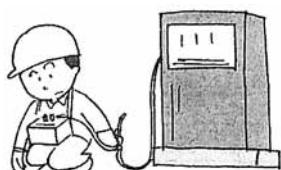
○導電性材料の使用



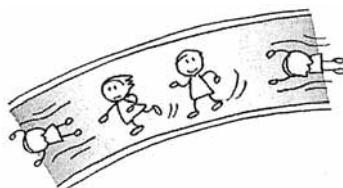
○摩擦を少なく



○従業員の教育

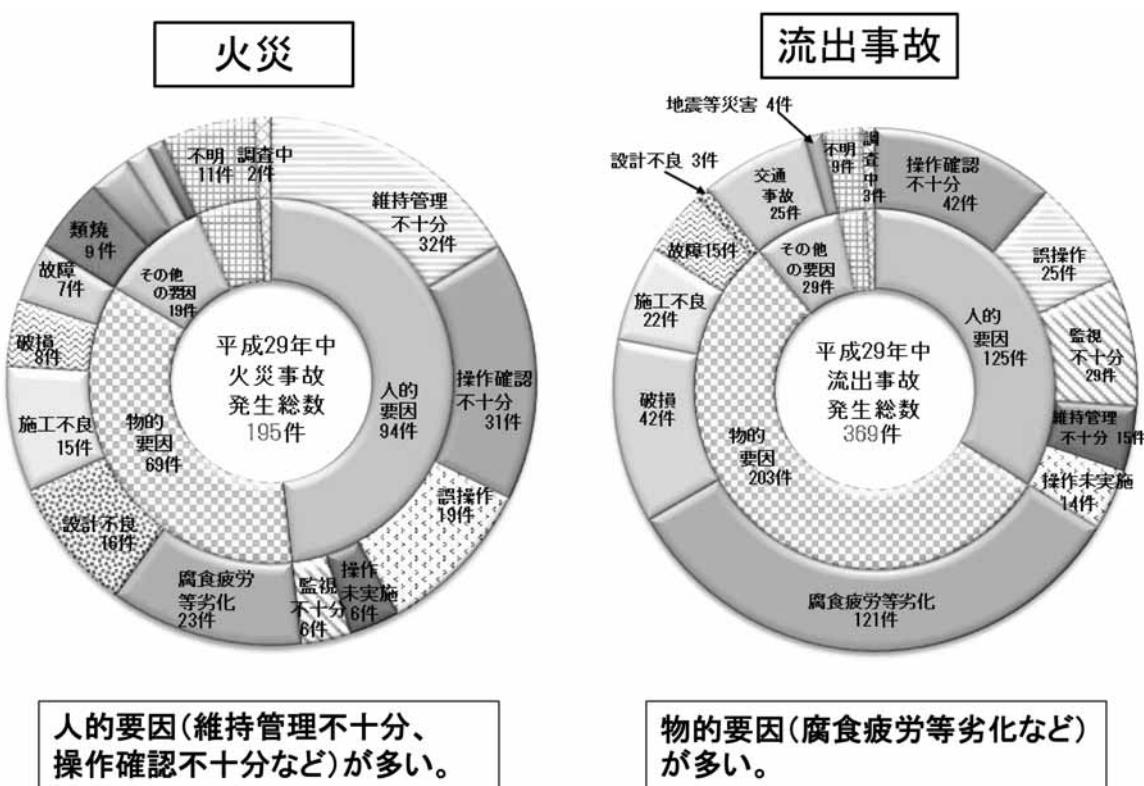


○定期点検の実施（アースの確認）

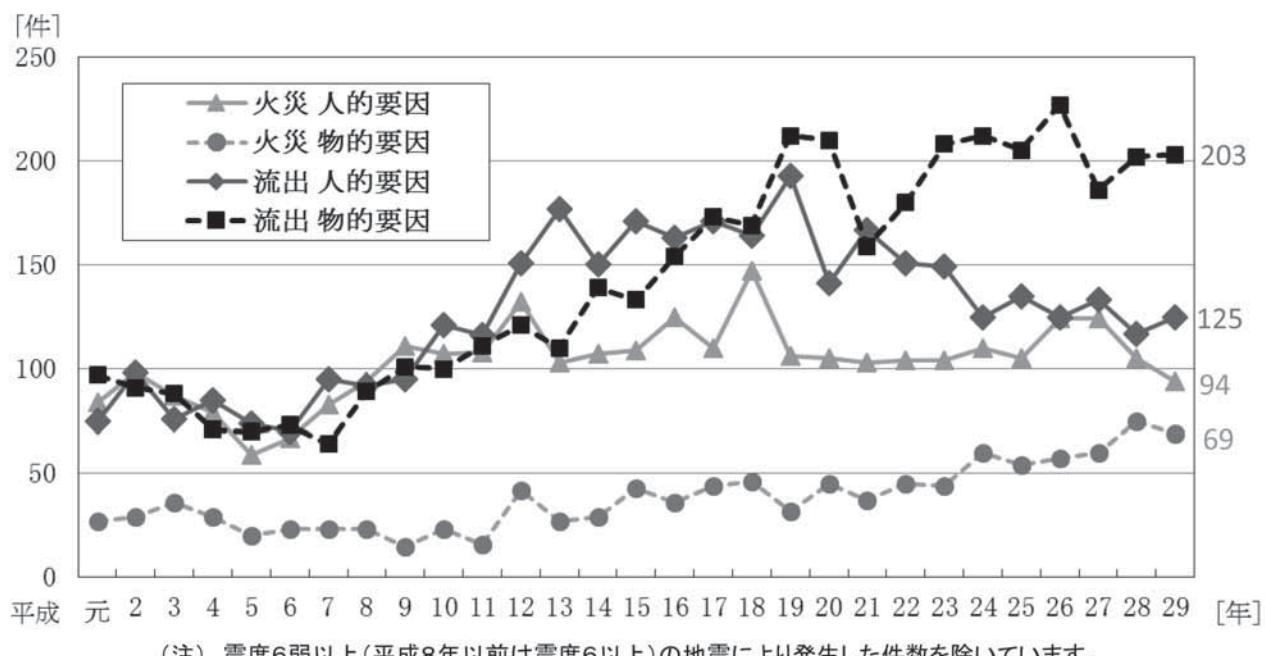


○流速の制限

平成29年中の全国の危険物施設の火災・流出事故の発生要因



危険物施設の火災・流出事故の原因の推移

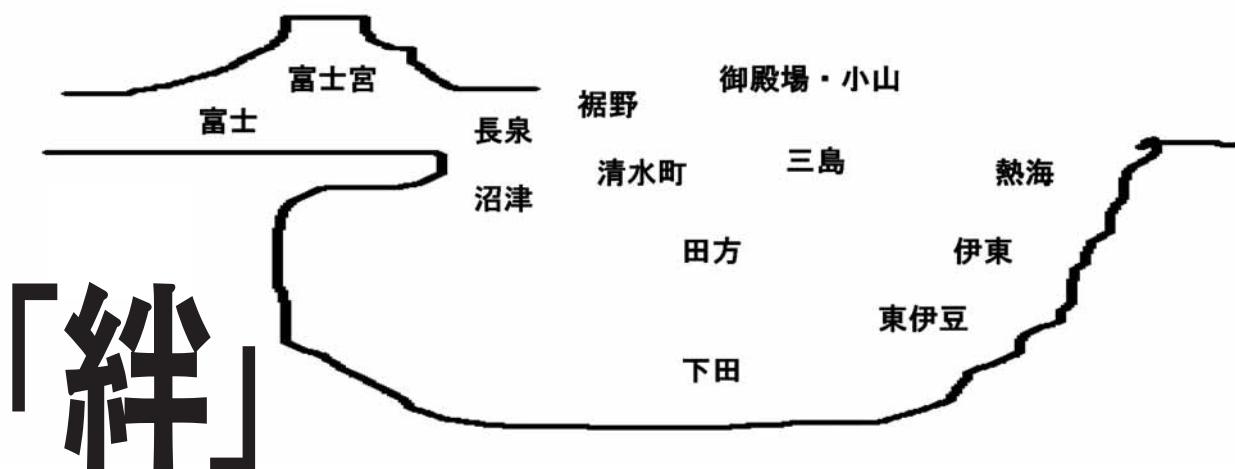


【特徴】

- 火災の発生要因については、維持管理や操作に当たっての不手際など人的要因によるもの(94件)が多く占めているが、物的要因によるもの(69件)も増加の傾向にある。
- 流出事故の発生要因については、物的要因によるもの(■203件)のうち、特に腐食疲労等劣化(121件)等の経年劣化によるものが増加の傾向にある。

☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆

静岡県東部地区危険物安全協会連絡会



平成30年度東部地区危険物安全協会連絡会も、例年どおり役員及び幹事が人事異動に伴い入れ替わり、新メンバーでスタートしました。永年、当連絡会に貢献していただいた方々にはこの場をお借りいたしまして感謝申し上げます。

さて、本年度最初の事業は恒例により、東危連幹事会を5月25日に沼津市のF D I バンケットホールにて開催しました。異動によりメンバーが入れ替わりましたので、初めに自己紹介を行い、東危連総会の打ち合わせ等を行いました。その後、最近の危険物規制事務等に関する情報交換や東危連の事業等についても話し合い、おおいに親睦を深めることができました。

6月8日には、伊豆の国市ニューア八景園にて正副会長会議を開催し、通常総会における行動等の打合せを行いました。

6月8日、9日には、ニューア八景園にて、県危連の近藤事務局長をお招きし、通常総会を開催しました。中島会長のあいさつの後、各議題について熱心に審議していただきました。また、第40回定期総会という節目の年と役員改選が重なり、沼津市防火協会会长の中島様が東部地区危険物安全協会連絡会新会長に再任されましたので御報告いたします。

研修視察は、日本サイクルスポーツセンター様の御厚意により、2020年東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技会場となった「伊豆ベロドローム」を視察させていただきました。

日本初の国際自転車競技連合規格の周長250mを有する屋内型自転車トラック競技施設で、ドイツ製の木製仕様走路となっており、国際大会はもとより全日本選手権自転車競技大会トラック・レースなど多くの国内主要大会で使用され、ナショナルトレーニングセンターとしての役割を果たすとともに、広く一般の方も使用できる施設となっています。

室内に案内されると、最大傾斜角度45度という橜円形のコースは、迫力があるとともに、トラックはそそり立つ壁の様相で恐怖すら感じるほどの高さもあり、皆様一様に「うおー」というどよめきが沸き上りました。

また、週末に行われる競技大会の練習と重なり、男性に交じって練習する女性の姿もあり、このトラックを時速70km/h前後で走行する競技用自転車に圧倒されつつ、緊迫感のある練習を肌で感じる体験ができました。

研修会の終了後は、ニューア八景園で懇親会を開催しました。会長、副会長をはじめ、御来賓の方々や、地区協会の会長、幹事など多くの方が参加し抽選会等、和やかに意見交換を行う事が出来ました。

以下に本年度の事業を紹介します。

1 第1回幹事会

- (1) 月　　日　　平成30年5月25日(金)
(2) 場　　所　　沼津市　F D I バンケットホール
(3) 議　　題
- ア 平成29年度事業報告及び決算報告
 - イ 役員の改選
 - ウ 平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）
 - エ 危険物事務事業等に関する情報交換等
 - オ 静岡県危険物安全協会連合会等の表彰者の調整
 - カ 東部地区危険物安全協会連絡会通常総会の役割等の調整その他

2 正副会長会議

- (1) 月　　日　　平成30年6月8日(金)
(2) 場　　所　　伊豆の国市　ニューア景園
(3) 議　　題
- ア 平成29年度事業報告及び決算報告
 - イ 役員の改選
 - ウ 平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）
 - エ 東部地区危険物安全協会連絡会通常総会の調整

3 平成30年度（第40回）通常総会

- (1) 月　　日　　平成30年6月8日(金)
(2) 場　　所　　伊豆の国市　ニューア景園
(3) 議　　題
- ア 平成29年度事業報告、決算報告及び監査報告
 - イ 役員の改選
 - ウ 平成30年度事業計画及び収支予算



平成30年度（第40回）静岡県東部地区危険物安全協会連絡会通常総会

4 観察研修

- (1) 月　　日　　平成30年6月8日(金)
(2) 場　　所　　伊豆市 ベロドrome
(3) 研　　修
　　ア　ベロドromeの概要説明
　　イ　施設見学



伊豆市 ベロドrome

5 幹事研修会

- (1) 月　　日　　平成30年10月 5 日(金)
(2) 視察場所　朝霞市　陸上自衛隊広報センター

6 第2回幹事会

- (1) 月　　日　　平成31年 3月 8 日(金)
(2) 場　　所　　沼津市　F D I バンケットホール
(3) 議　　題
ア 平成30年度事業報告及び収支決算見込み報告
イ 平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）
ウ 東部地区危険物安全協会連絡会通常総会の役割等の調整その他
エ 危険物事務事業等に関する情報交換等

**あなたなら
無事故の着地
決められる！**

☆☆☆ ちょっとひとりき ☆☆☆



安全で快適な環境作り

長泉町防火協会 会長

影 山 正 樹 (総務委員会委員)

整理収納アドバイザーという資格をご存知でしょうか？私は妻がこの資格を取るまでは知りませんでした。片付かない原因や問題点を見つけ出し、モノとのかかわり方から見直すことで根本から問題を解決する、いわば「お片付けのプロフェッショナル」です。

そんな妻に言われたのが、職場で床にモノを置いていない？高い位置にモノを置いていない？整理整頓できている？でした。床にモノがあると躓いての転倒や、災害時に避難できない等の危険があります。コードなども躓く一因です。そして高い位置にモノが置いてあると、地震などの災害時に落ちてくる危険もあります。また、脚立などに登ってモノを取ろうとした時の転倒の危険や、無理な態勢で体を傷める危険もあります。安全で快適な環境とは、動線に沿った収納をすることが基本だそうです。使用頻度の高いモノから指定席を決め、使う場所に、使うモノを収納すると、とても使いやすくなること。

スッキリした環境はとても居心地がよく、探し物がなくなり、作業効率も格段に上がるだけではなく、人間関係も円滑になります。危険物を取り扱う職場の基本として、安全で快適な環境作りが重要であると再認識し、実践して参りたいと思います。

みなさんも、モノとのかかわり方を見直してみてはいかがでしょうか？

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



「やっぱり」

裾野市防火協会 会長

市 岡 由 寿 (広報委員会委員)

私は関西からの転勤で裾野市に来て10年になります。

会社（工場）は裾野市須山にあり、自宅からは富士山方向に向かって車で通勤しています。

裾野市に来た当初は、日本一の単独峰、富士山をフロントガラスに見ながら通勤することに感動をしたものです。

最近では見慣れた風景となりましたが、それでも毎年雪を被る富士山には感動します。（私の住んでいる所から工場までは標高差があるのでさすがに車の燃費は悪いです・・・）

10年間裾野に住んで思う事ですが、やっぱり裾野は良いなと改めて思います。

富士サファリパーク、遊園地のグリンパ、富士山こどもの国などの観光施設が市内、その周辺にあり、市営の温泉、裾野ヘルシーパークは美人の湯と言われ泉質が良いことはもちろん、富士山を見ながら露天風呂につかるのが最高です。

私はゴルフが好きで、年に数回、裾野市やその周辺のコースでラウンドしますが、富士山を見ながらのプレーは最高ですよ！

ゴルフの腕前は下手なのですが、天気の良い日に富士山を見ながらプレーすると癒されます。

裾野市に限らず、静岡県東部は名所が多いと思います。何度か車で伊豆半島の各地をまわりましたが、絶景が多くその度に癒されリフレッシュすることができました。

中部、西部の皆様もぜひ裾野市や伊豆半島の観光地にお越しください。お待ちしております。

平成元年に旧裾野市防火協会と裾野市危険物安全協会が統合し、あたらしい裾野市防火協会となって今年で30年を迎えます。

訓練や講習会の開催、防火防災や危険物保安管理に関する事業の実施、情報提供などを積極的に行い、まちの安全安心の一端を担っていると自負していますが、事業運営には改善や工夫が必要ですのでこれからも皆さまのご支援、ご協力をお願いいいたします。



☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆

中部地区危険物安全協会連絡会

この一球 届け無事故へ みんなの願い



近年、台風や梅雨前線等の影響により日本各地で大規模な災害が発生し、大雨、洪水、暴風、高潮などをもたらしています。

険しい山や急流が多い日本では台風や前線による大雨によって、川の氾濫や土石流、がけ崩れ、地すべりなどが発生しやすく、人々の生活や生命が脅かされるような自然災害が度々発生しています。

最近では短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨、ゲリラ豪雨が頻発し時間雨量100ミリメートルを超えることも珍しくありません。

特に住宅等の開発が進んだ都市部では、アスファルトジャングルとなり川の急激な増水が生じ、道路や住宅の浸水被害も発生しています。

また、雨で増水した川や畑を見に行って流れてしまったり、浸水した道路で側溝の境界が見えにくいために転落したりする事故も発生しています。

このような、自然災害から身を守るには、食料等の準備や避難地・避難順路を確認するなど事前の備えと、早い情報収集、行動が求められると思います。

危険物施設においても常に適正な取扱いを行い点検・整備をすることにより、万が一事故が発生した場合には、迅速な対応が求められます。

どんな災害にも準備（計画）、と早い対応があれば被害は最小限に止めることができます。

当連絡会においては危険物に起因する重大事故は発生しておりませんが、地域社会の安全確保のため引き続き会員皆様方には高い防災意識を持ち、ご協力をお願いいたします。

【平成29年度の主な行事】

1 総会

静岡県中部地区の危険物安全協会及び防災協会等が、事務事業に関する情報交換と連絡協調等の交流に努めることにより、各地区協相互の事務事業の円滑な推進・発展と会員相互の親睦を図ることを目的としており、会則の変更、事業計画及び事業報告、予算及び決算、その他運営上重要な事項に関して決議を行います。

(1) 日程 平成29年6月9日(金)

(2) 会場 静岡グランドホテル中島屋

(3) 来賓 (一財)消防試験研究センター静岡県支部

支部長 中西芳弘 氏

(一社)静岡県危険物安全協会連合会

事務局長 近藤 聰 氏

(4) 議題 ① 会員の変更

② 平成28年度事業報告、収入支出決算報告及び監査報告

③ 平成29年度事業計画(案)、収入支出予算(案)

④ 役員の改選

⑤ 中危連会長、県危連理事、県危連役員選出輪番



2 幹事会

各地区協会の事務局員が参加し、協会事業の円滑な推進等について協議とともに、危険物規制事務に関する意見交換や研修会とうの情報共有を積極的に行い、危険物施設での事故・違反の防止を図っています。

(1) 第1回幹事会

- ①日 程 平成29年5月12日(金)
- ②会 場 藤枝市立駅南図書館
- ③議 題
 - ア 平成28年度事業報告、収支決算報告
 - イ 平成29年度事業計画(案)、収入支出予算(案)
 - ウ 平成29年度総会
 - エ 平成29年度
 - (一社) 静岡県危険物安全協会連合会表賞査確認
 - オ 役員選出輪番
- ④連絡事項
 - ア 平成29年度会員名簿の作成
 - イ 防災資機材の配布



(2) 第2回幹事会

- ①日 程 平成29年11月22日(水)
- ②会 場 島田市地域交流センター「歩歩路」
- ③議 題
 - ア 平成29年度事業実施状況、予算執行状況
 - イ 平成30年度事業計画(案)
 - ウ 平成30年度
 - (一社) 静岡県危険物安全協会連合会表賞査確認
 - エ 役員の改選
 - オ 中部地区選出
 - (一社) 静岡県危険物安全協会連合会理事の改選

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



富士宮市防火安全協会会长就任にあたって

富士宮市防火安全協会 会長

御宿冬樹（総務委員会委員）

本年6月の総会におきまして、富士宮市防火安全協会の会長を仰せつかり、その職責の重さを感じているところであります。

当協会は、会員数556事業所で組織され、事業といたしましては、他の防火協力団体と共に、春秋の火災予防運動期間中の広報活動や防火ポスター展を実施しています。

さらに毎年開催される、消火技術競技大会では、26事業所、60チーム、115人が参加し、迅速かつ適切な通報、伝達、消火技術及び初期消火に対応する技術の習得を目的に実施しています。その他にも甲種防火管理新規講習会、普通救命講習会を実施しています。

また、私は静岡県エルピーガス協会富士宮地区長も務めております。ガス事業に関わる者として日々感じる思いは、火災を始めとして大きな災害が起きない、起こさせないことであり、安全、安心な町づくりを目指すための責任は、大変重大だと受けとめております。

防火安全協会としては、あらためて各事業所の自主保安体制を確立させ、防火対象物、危険物施設等の管理や自主防災訓練を徹底し、火災はもとより、さまざまな災害の防止を図るとともに、消防機関と連携、協力し、今まで以上に深いものにして安全意識の普及・啓蒙活動を進めてまいりたいと思いますので、皆様方の一層のご協力をお願いいたします。



【消火技術競技大会（女子の部）】



【消火技術競技大会（男子の部）】



【普通救命講習】



【消防フェア】

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

“夢は叶わなくとも、追いかけることで人は成長する”

袋井保安管理協会 会長

平 川 和 之 (企画委員会委員)

私は高校1年の夏からギターを始め、習い始め3か月で幼馴染で結成したグループでコンサートの前座出演をさせてもらいました。コンサート後に見知らぬ方に感想を聞きましたが、あなた達のは音楽じゃない、何も伝わってこないと言われ、大変な挫折感に襲われ、それも習い始め3か月でステージに立つことが無謀で、後悔した覚えがあります。

天才などいない、努力なくして結果は生まれないと思うようになり、それ以降、毎日指から血が出るほどの練習を重ねました。

人の曲をコピーしても、それ以上はないと考え、自作自演での曲作りを始めました。当時、音楽の登竜門と言われていたヤマハポピュラーソングコンテスト（ポプコン）に高校2年生くらいから応募し、高校3年生の時に初めて東海大会に出場できました。結果は賞も取れずに終わりましたが、これが後に起爆剤になり、東海でグランプリを取って全国大会へ行く（掛川市 つま恋）を合言葉で頑張りましたが、就職や進学なども重なり、グループは解散、残されたのは兄と私の2人だけでした。

私も就職が決まり、でも音楽の夢は捨てきれなく、当時9歳年下の妹がピアノも弾け、歌唱力も抜群だったので、兄弟3人でポプコンに応募しました。

楽器は、私のギターとアフリカの楽器のカリンバのみで、混声3部で歌いました。これが東海大会でグランプリを受賞し、夢であったつま恋の第19回全国大会出場を果たしました。しかし、結果は賞も取れませんでした。

全国大会で、つま恋のステージで6,000人の前で歌う夢は叶いましたが、賞が取れずに、今度は賞を取りたいと夢は膨らみました。兄が脱退して、兄妹の2人でポプコンに応募しました。結果、第22回、第23回とつま恋の全国大会に出場し、入賞を果たし、レコード（後のCD）デビューもできました。全国で賞をとれる曲、東海大会でグランプリをとれる曲作りに必死になっていたことを思い出します。

アマチュア時代は「チャウチャウ」というグループでしたが、レコードデビューでは和風カーペンターズということで、リチャードカーペンターに「デュードロップ」というグループ名を付けてもらい音楽活動をしていました。当然会社員でしたので、仕事が終わって新幹線に飛び乗って仙台や大阪などキャンペーンで土日は多忙でした。そして月曜日から仕事と言う毎日でした。多忙でも充実感はありましたし、自分たちの曲を聴いて少しでも心が癒される人がいれば良いと考えていたからです。

シングルレコード2枚、内1枚は映画の主題歌で、作詞作曲は谷村新司さんでした。ローカルテレビ、ラジオ、楽器屋の店頭など様々なところで活動をしましたが、結局ヒットせずに、泣く泣く兄妹デュオは解散になりました。しかし、今だから思うことは、夢はあきらめない、夢を持つことが重要で、叶わなくても、それに向かって進んでいけば、きっと将来自分の成長につながると信じていくことだと思います。

今の私の心の中の夢は退職後に小さいお好み焼き屋さんを開業して、客層は中高校生で、これから将来のある若い子達と色々と話をしてみたい、話し合ってみたいことが夢です。

現在、私は会社の経営的なポジションにいますが、常に夢を持って前向きに物事を考えるように、自分もそうですが、皆に指導しています。但し、これだけは最後に言いますが、夢を追い続けることは良いことですが現実から逃げることだけはしないで下さい、現実に向かっていくことも重要だからです。

なぜならば、現実があるから夢があると信じているからです。これを読まれている方も夢はあると思います。それに対して何かやられていますか？是非これを機会に夢に近づいてもらえると幸いです。



☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆



西部地区危険物安全協会連絡会

平成30年度西部地区危険物安全協会連絡会は、会員並びに幹事が各地区協会の改選又は異動により、メンバーも入れ替わりスタートしています。

退任されました会員や幹事の皆様には、長年に渡り当連絡会に貢献いただきました事に感謝申し上げます。

さて、当連絡会管内においては、昨年度危険物に起因する大きな火災等の事故は発生しておりません。これもひとえに会員皆様の安全意識の向上や安全対策の活動に取り組んでいる結果だと思います。

当連絡会の平成29年度主な事業については、6月13日(火)に県危連の近藤事務局長並びに磐田市消防本部の矢部消防長にご臨席を頂き総会を開催いたしました。

研修としては、7月27日(木)に浜松市防火協会が主催しました、「気象災害から身を守る～静岡県の特性と情報の裏舞台～」についての講演を聴講しました。

講師は、天気予報士吉井明子氏で、参加した会員からは、気象による防災対策の重要性を認識することができ、台風や豪雨に伴う河川の氾濫、土砂災害から身を守るため、事前の気象状況把握がいかに大切であるかを学びました。

視察では、1月25日(木)に御前崎市消防庁舎と浜岡原子力館を見学し、共に地震に伴う対応処置として、免震や耐震及び津波対策の構造で作られた施設を関係者の説明を受けながら見学しました。

当連絡会は、今後も各協会相互に連絡協調を図り、より実りある連絡会としていく所存です。

平成29年度に実施した事業についての詳細については次のとおりです。

1 総会・会議関係

(1) 総 会 平成29年 6月13日(火)

オークラアクトシティホテル浜松で開催され、平成28年度事業報告・収支決算、役員改選及び平成29年度事業計画案、収支予算案等について承認されました。

(2) 幹事会議

次のとおり3回の幹事会により、事業の円滑な推進や地区協会の発展を目的とした情報交換等を行いました。

- 第1回幹事会 平成29年5月2日(火) 於：浜松市消防局
- 第2回幹事会 平成29年8月25日(金) 於：浜松市消防局
- 第3回幹事会 平成30年2月9日(金) 於：浜松市消防局

(3) 連絡会議 平成29年11月22日(水)

オークラアクティティホテルで連絡会議を開催、平成29年度の中間事業報告及び平成30年度の事業方針等について審議し、会議終了後、懇親会が開催され和やかな雰囲気の中、情報交換を行いました。

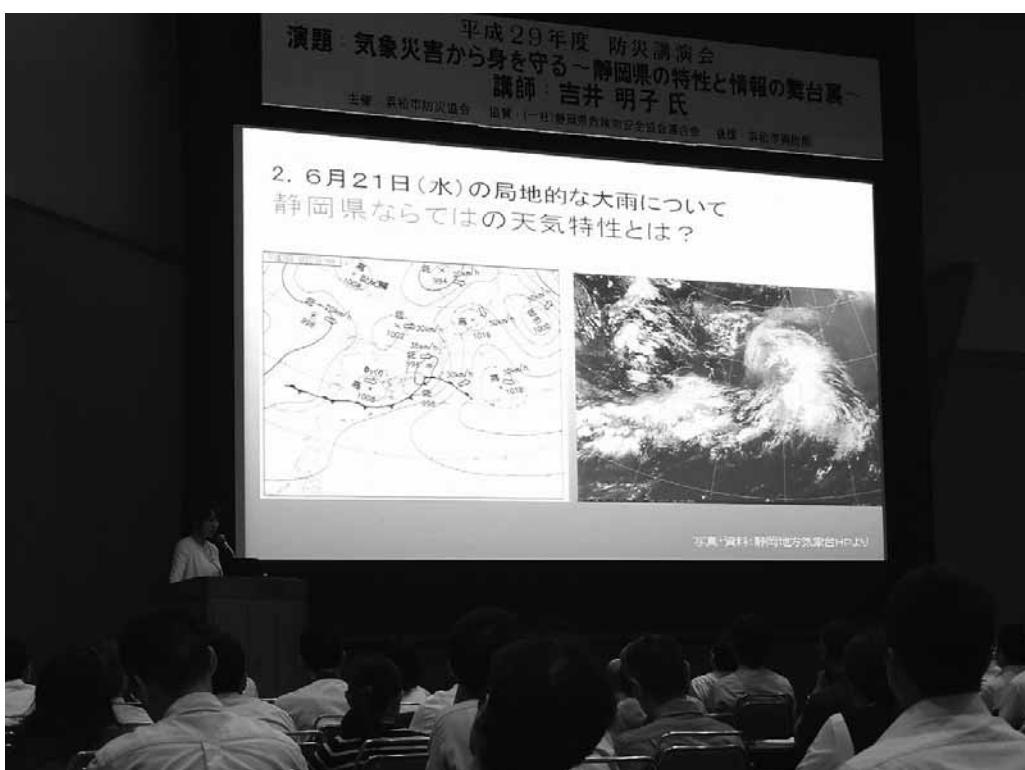


挨拶：鈴木裕司会長

2 研修会関係

(1) 会員・幹事研修会 平成29年7月27日(木) 於：アクティティ浜松コングレスセンター

気象予報士 吉井明子氏による「気象災害から身を守る～静岡県の特性と情報の舞台裏～」の講演を聴講しました。



防災講演会「講師：吉井 明子 氏」

(2) 会員・幹事視察研修会 平成30年1月25日(木) 於：御前崎市佐倉
浜岡原子力館を視察しました。



浜岡原子力館にて

(3) 幹事研修会 平成29年8月25日(金) 於：浜松市消防局
各地区協から規制事務に関する事例について、情報交換を実施しました。

下田地区危険物安全協会

当危険物安全協会は、静岡県東部の伊豆半島最南端に位置し、下田市を中心に河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町の1市4町の会員事業所で構成されています。



産業は、豊富な自然を背景に古くから第一次産業が発展していましたが、現在では良質な海水浴場に加えて複数の温泉地も点在することから、四季を通じて多くの人が訪れ観光産業が経済基盤の中心となっています。

当協会は、会長1名、副会長3名、理事若干名及び監事2名を役員とし、83現在事業所で活動しております。

活動内容としては、総会、年2回の役員会、危険物安全週間中の協会会員施設への点検・災害予防巡回指導、視察研修旅行、県内で実施されている危険物管理技術研修会等の参加など、1人、1人が保安に対する高い意識と技術をもって、「安心・安全」を常に心がけ業務に取り組んでいます。

当協会の事業紹介

1 通常総会



毎年5月に通常総会を行い、危険物の保安管理に尽力された保安功労者・優良取扱者・優良事業所の会長表彰及び決算、予算、事業案等の審議を行っています。総会終了後には、危険物の保安業務に関する講話や、危険物の保安管理に関するDVDを視聴し、危険物の取扱いに関する知識の向上に努めています。

2 会員危険物施設への巡回点検



毎年6月の第2週に実施される危険物安全週間にあわせ、協会役員が数組に分かれ会員事業所を巡回し、オリジナルの点検表に基づいた点検を実施しています。

3 観察研修旅行



毎年、秋には観察研修旅行を企画し、研修先の社内や工場を観察、会員事業所の災害予防等の危機管理意識の高揚に努めるとともに会員の交流、親睦を深めています。

観光名所の紹介

☆下田市・黒船祭り☆



西暦1854年、下田港に、ペリー提督率いる米国海軍が日米和親条約を携えて来航。これにより徳川幕府の鎖国政策に終止符が打たれ、近代日本の幕開けとなりました。その功績を後世に伝えるため、昭和9年に黒船祭りが始まり、例年米国大使をはじめ米海軍や自衛隊の派遣艦・音楽隊・カラーガードなどが参加しています。

2月上旬から3月上旬までの約1ヶ月間開催される桜まつりです。河津桜は早咲き桜で、淡紅色の花が約1ヶ月にわたって咲き続けます。毎年イベント期間中には全国から100万人前後の観光客が来場するといわれています。



☆下田市・田牛龍宮窟☆

☆河津町・桜まつり☆



「龍宮窟」は伊豆ジオパークとして認定された直径約40mの天窓が開く神秘的な洞窟です。大地が作った神秘のハートと言われており、恋人たち定番のデートスポットとなっています。

☆南伊豆町・石廊崎☆

伊豆半島の最南端に位置し、一帯の地質は、約700万年前に海底火山が噴出した溶岩流で、岬の先端付近には「日本の灯台50選」にも選ばれた石廊崎灯台、その先には石室神社、最突端には熊野神社の祠（ほこら）があり、壮大な太平洋のパノラマが展開しています。



三四郎島は、沖合200Mほどのところにある4つの島で、見る角度により3つに見えたり、4つに見えたりすることからこう呼ばれています。また、陸地と島とを連結する自然の橋のことを「トンボロ」と言い大変珍しい現象で、干潮時には一番手前の伝兵衛島まで瀬が現れ足をぬらさずに歩いてわたることが出来ます。

☆西伊豆町・三四郎島☆



☆松崎町・石部の棚田☆



標高120～250mの範囲に広がる美しい棚田です。面積4.2ha、棚田の枚数370枚と、伊豆地区でも最大規模の棚田エリアで、平成22年には第16回全国棚田サミットが開催されました。

沼津市防火協会



【人が輝くまち・沼津】

駿河湾越しの富士山、市街地をゆったりと流れる狩野川、静岡県東部の中心である沼津市は、温暖な気候風土に恵まれた景勝地です。折々に変化する豊かな自然の恵みと細やかな人情は、訪れる人々に安らぎとにぎわいのある街を感じさせてくれることでしょう。

沼津市防火協会は、平成15年5月28日沼津市危険物安全協会との統合により、新たなスタートとなり、今年で15年目を迎えました。前進は、昭和40年に設立し、53年もの歴史があり、事業所における防火管理及び危険物等の保安管理の向上を図り、火災等の災害防止活動を推進するとともに社会公共の福祉の増進に寄与することを目的に活動しています。現在、387会員からなり、総務・防火管理・危険物及び液化石油ガス保安管理・広報の4つの事業推進委員会で構成されています。ここで沼津市と沼津市防火協会の事業を紹介します。

【沼津市の紹介】



沼津市は、人口196,530人、総面積186.96km²、富士、箱根、伊豆の中央に位置し、富士山と駿河湾という山と海の素晴らしい眺めを誇っていることから、観光地として、国際的にも稀な立地条件となっています。特に海については、魚種が豊富な水産業のほかにも、最近はマリンレジャースポーツ・レジャーの拠点として注目され、駿河湾内でおよそ63kmの海岸線となっています。

私たちのまち沼津市は、豊かな自然に恵まれているとともに歴史、産業、伝統文化など多種多様な地域資源がたくさんあります。そこで、「ぬまづの宝」の一部を紹介します。

《千本松原・千本浜》



駿河湾の海岸線に沿って、約10kmにわたり連なる千本松原。その由来は、戦国時代、戦で防風林が切り払われた際に、潮風に苦しむ農民の姿を見た千本山乗運寺の開祖・増誉上人が植えたものと伝えられます。富士山を臨むそのすばらしい景観は、若山牧水や井上靖など幾多の文人にも愛されてきました。

現在、木々の鮮やかな緑や木漏れ日が美しい松林には、千本浜公園から原まで続く遊歩道が整備されており、散歩やジョギングを楽しむ人々に親しまれています。

《香貫山》

市街地の南東部にある標高193mの山です。山頂の展望台からは市街地と駿河湾、富士山、南アルプスが一望できます。手軽なハイキングスポットとして人気があります。中腹の香貫山香陵台までは車で登ることができます。香陵台は桜の名所としても有名で、戦没者の慰靈碑が建っているほか、若山牧水などの歌人の歌碑も建立されています。



《沼津アルプス》

香貫山から、南へ横山、徳倉山、鷲頭山、大平山と続く山並みは、別名「沼津アルプス」と呼ばれています。五山七峠を越える長いコースですが、富士山をはじめ伊豆、箱根の山並み、駿河湾の景観を楽しむことができ、シーズンには市内外から多くのハイカーが訪れます。

《沼津機関区記念碑》



沼津駅南口前とキラメッセぬまづ前には、それぞれ「沼津機関区」の記念碑が建っています。

沼津機関区は機関車の運用管理や整備等を行う場として日本の大動脈ともいえる東海道線を支えていました。

当時の沼津機関区は、日本の中でも整備・技術ともに常に最先端を誇り、国内外の電化要員の育成・指導も行いました。

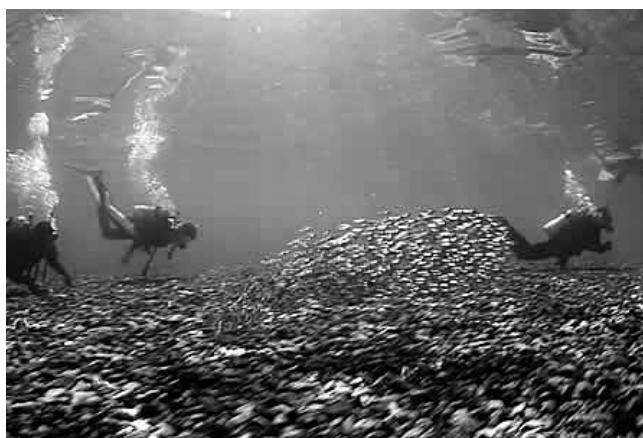
《我入道の渡し船》

我入道の渡し船は、狩野川河口付近から対岸への渡し船として昭和46年まで運航していましたが、港大橋の完成でその役目を終え廃止されました。その後、平成9年に復活し、現在は我入道から蓼原町（沼津港側海岸）・あゆみ橋まで運航しています。

中心市街地から狩野川河口までをゆっくりと進む渡し船は情緒にあふれ、市民や観光客に利用されています。



《大瀬・井田》



大瀬崎や井田などの海岸はダイビングの人気スポットとして有名で、魚の豊富さと透明度の高さでも広く知られていて、全国から多くのダイバー達が訪れます。

また、ダイビングスクールなども盛んに行われています。

《展望水門びゅうお》

静岡県が津波対策として建設した国内最大級の展望水門「びゅうお」。沼津港の内港と外港を結ぶ航路から進入する津波から、港の背後地の50ヘクタール、約9,000人を守るために作られた水門です。両岸に設置したエレベーターで地上30メートルの展望回廊に登ることができます。夜間はライトアップされ、ムードいっぽいの「びゅうお」や沼津港を楽しむことができます。

「びゅうお」は平成16年9月に完成、シェル構造（単段）の水門ゲート設備全体質量が923トンと日本一を誇ります。



【沼津市防火協会の活動】

《定期総会》



平成30年5月14日 第16回定期総会を開催しました。



《危険物運搬車両等検査》

移動タンク貯蔵所、少量危険物タンク、危険物運搬車両および高圧ガス運搬車両の検査を実施しています。

《危険物施設巡回点検指導》

協会員の施設から事故を出さないという自主保安の目的から、危険物および液化石油ガス保安管理委員会が担当し、50名の巡回点検指導員による387施設の巡回点検をしています。



《花火教室》

夏シーズンを迎える頃には、市内保育所等に正しい花火の使い方を指導しています。

《防災訓練》

防火管理委員会が主となり、5月と10月に行う年2回の防災訓練を実施、消防用設備等の有効な使用方法等の指導をしています。



《その他》

そのほか、視察研修会や普通救命講習の受講、火災予防運動街頭広報など、防災意識の高揚と地域社会の発展のため活動しています。



このすばらしい「沼津市」「沼津市防火協会の活動」を紹介しましたが、より一層の「安心」「安全」をめざし協会運営に努力していきます。

志太危険物安全協会

☺協会の紹介

本協会は、平成28年4月1日より、焼津市危険物安全協会と藤枝市危険物安全協会が統合し、志太危険物安全協会として発足しました。

発足から3年目を迎える現在、設立の目的である危険物災害の予防に常に努めるとともに、会員相互の交流・融和・親睦を深めるため、各事業の健全なる振興を図っています。また、少年期からの防火・防災意識の高揚を図ることを目的として開催されている少年消防クラブに協賛するなど、社会公共福祉の増進に寄与できるよう取り組んでいます。

☺志太危険物安全協会章



志太危険物安全協会

藤枝市の『F』、焼津市の『Y』、それぞれの頭文字を両市の位置関係（内陸の藤枝市、沿岸の焼津市）に合わせて配置し、両市が手を取り合い、危険物災害の防止に努めていくという想いを込めて協会章を作成しました。また、配色は、両市を象徴するカラーとし、『F』を藤色、『Y』を焼津マリンブルー、協会名は、安全を願す緑色としました。

☺設立総会

平成28年5月26日、藤枝市・焼津市の両市長をはじめとする多数のご来賓の方々ご臨席のもと、本協会の設立総会を開催いたしました。設立総会は滞りなく終了し、会員数278事業所（設立時）と県下3番目の会員数を誇る団体として発足いたしました。設立総会終了後には、琉球歌舞集団『琉神』を招き、新たな船出に花を添えていただきました。



☺協会事業の紹介

【視察研修】

視察研修は、県内外で、多種多様な危険物の貯蔵または取扱い形態や保安管理体制を学び、情報を共有して見聞を広めるとともに、会員相互の交流・融和・親睦を深めることを目的として実施しています。



【保安指導】

保安指導とは、保安指導員（安全委員）が他の会員施設の点検を実施するもので、相互に安全意識の向上を図ることを目的としています。これは、旧焼津市危険物安全協会で展開されていた事業であり、統合を機に、1年間の試行期間を経て、志太危険物安全協会の事業として確立されました。現在は、年2回、計30から40事業所を対象に実施しており、点検した結果が良好であると保安指導員が判定した場合、日頃の維持管理体制の功績を称え、保安指導済証（シール）を配布しています。



点検状況（聴き取り）



点検状況（現地確認）



保安指導済証（シール）



維持管理状況が良好と判定されました！

【普通救命講習】

毎年7月には、焼津会場と藤枝会場において、本協会の会員事業所を対象とした普通救命講習を6日間にわたり開催しています。毎年100名を超える会員に受講いただき、座学や実技を通して救命の連鎖を学ぶことができると、盛況を呈しています。



焼津会場



藤枝会場

☺地元（焼津市・藤枝市）ご当地クイズ



志太危険物安全協会地区（焼津市・藤枝市）には、『志太系ラーメン（通称朝ラー）』と呼ばれる、早朝からラーメンを食べる習慣があります。これは、まだ薄暗い時間から仕事を始め、お日様が昇るころには仕事を終える方の腹ごしらえから始まった文化とされており、現在でも徐々に営業開始時間が早まっていると云われています。

さて、現在定着している朝ラーの組み合わせは次のうちどれでしょう？

- 1 ラーメン（温） + ラーメン（冷）
- 2 ラーメン（温） + コーヒー（冷）
- 3 ラーメン（温） + 藤枝ハイボール（冷）
- 4 ラーメン（温） + 魚河岸シャツ（着）



正解：1

湖西市危険物安全協会

当協会は、昭和51年12月に湖西市・新居町危険物安全協会として発足し、平成22年3月の湖西市と新居町の合併に伴い名称を湖西市危険物安全協会に変更し、昨年創立40周年を迎えました。

当協会は、危険物の取扱い及び管理の向上とこれに起因する災害防止に努め、もって産業の健全なる振興発展と社会公共の福祉の増進に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的としています。

協会の主な事業

定期総会、視察研修会、会報の発行等を行っています。

定期総会

毎年5月に定期総会を開催、事業及び決算報告、事業計画案及び予算案について審議し、その席上で功労者、優良事業所、優良取扱者に対し、会長表彰の授与を行っています。



視察研修会

当協会の視察研修事業の一環として、防火安全管理及び防火意識の向上と会員相互の親睦を図ることを目的として、視察研修会を実施しています。



創立40周年記念式典

平成29年度、昭和51年12月の発足から40周年を迎えることとなり、平成29年6月30日、浜名湖競艇企業団サンホールにて創立40周年記念式典及びプライムアースEVエナジー(前)代表取締役社長の林芳郎氏による記念講演、浜名湖リゾート&スパTHE OCEANにて祝賀会を開催しました。



【(一財)全国危険物安全協会理事長感謝状授与】



【(一財)消防試験研究センター静岡県支部長感謝状授与】



【会長挨拶】



【会長表彰受賞者】



【記念講演】



【祝賀会】

湖西市のキャラクター コーちゃん



市制20周年を迎えるのを記念し、公募の中から選ばれたキャラクターで、市章をモチーフに、空を見上げ明日に向かう湖西市をイメージしています。頭の毛3本は、愛嬌、ユーモア、浜名湖名産のうなぎを、空を指しているのは躍進を表現しています。

【湖西市の紹介】

静岡県の最西端、浜名湖の西側に位置することから「湖西」が地名となったと言われており、南側は遠州灘、東側は浜名湖に面し、静岡と愛知の県境をまたぐ湖西連峰など、自然豊かな人口約6万人のまちです。

市民協働で創る「市民が誇れる湖西市」を将来像に、「環境」づくり、「もの」づくり、「ひと」づくりに励んでいます。

・浜名湖



【浜名大橋】



【新居弁天海釣公園】



【浜名湖内】



【うなぎ】



【あさり】



【牡蠣】

・湖西連峰

300～400mの山々が連なる湖西連峰のハイキングコース内には、浜名湖、三河、遠州灘を一望できるポイントも多数あります。また、ウグイスやメジロ、シジュウカラなどの野鳥も多く生息し、バードウォッチングにも最適です。



【湖西連峰から湖西市を望む】



【仏岩】

・新居関所

新居関所は国指定特別史跡で、日本で唯一現存する関所です。宿場町の発展を今に伝え、歴史を物語る場となっています。



【新居関所】



【関所内部】



【復元された大御門】

・手筒花火

「遠州新居の手筒花火」は古くから「東海道の奇祭」と呼ばれ、300年以上続く新居町内の諏訪神社に奉納される伝統の花火で、毎年7月下旬の2日間、約2000本の手筒花火が火を噴きます。



・豊田佐吉翁

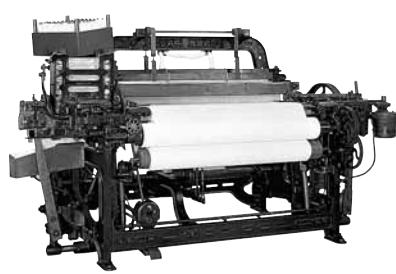
慶応3年（1867年）～昭和5年（1930年）

近代日本の発明王として知られ、湖西市が世界に誇る偉人に豊田佐吉翁がいます。

自動織機の発明などで日本の近代産業の発展に貢献し、「障子をあけてみよ、外は広いぞ」という言葉を遺し、今日のトヨタグループの礎を築きました。



【豊田佐吉翁生家】



【無停止杼換式豊田自動織機(G型)】



☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

乙種第4類を受験される方へ！
本講習を受けると合格率が違います！

危険物取扱者試験 予 備 講 習

- 1回の受講料で、合格まで何度も再受講（有効期間1年）できます。
- わからなかった例題集の問題は、メール（FAX）で個人に回答します。
- 試験直前に、追加講習を実施します。

●受講案内（受講申請書）の入手方法（以下のどちらか）

- (1) 県下の消防局・消防本部または消防署内にある「地区協会」、および消防署（一部）で配付しています。
- (2) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードできます。

●受講申請書提出先

(一社) 静岡県危険物安全協会連合会へ郵送してください。

●使用テキスト（テキストは指定です。講習前にいずれかの方法で入手し、事前に一読してください。講習会場では販売しません。）

- テキスト代 4,340円 ((一財) 全国危険物安全協会のテキスト〈3冊1セット〉を使用。)
- (1) 県下の消防局・消防本部または消防署内にある「地区協会」で購入してください。
 - (2) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会で購入してください。(送付可。送料は受講者負担。)

●受講料（学生割引50%があります。）

- (1) 1日講習 一般 4,000円（当日受付は5,000円） 学生 2,000円（当日受付は3,000円）
- (2) 2日講習 一般 7,000円（当日受付は8,000円） 学生 3,500円（当日受付は4,500円）
2日講習は、講義だけでなく例題集もやります。（物理と化学の苦手な方にお勧めします。）
- (3) 追加講習 (30名／定員) 無料 ※1日講習、2日講習を受講した方が対象です。
ポイントと計算問題を中心とした解説を行います。

●講習日程

申請期間	開催時期	講習の種類	講習日	会場
4月1日 から 受講希望日 の 1週間前 (必着)	30年 6月期 (試験日) 6月10日	1日講習	5月11日(金)	沼津市(高島本町1-3「沼津労政会館」)
			5月14日(月)	浜松市(中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)
			5月15日(火)	磐田市(二之宮東3-2「磐田市文化振興センター」)
			5月16日(水)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			5月17日(木)	富士市(柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」)
		2日講習	5月23日(水)	焼津市(三ヶ名1550「焼津文化会館」)
			5月5日(土)～5月6日(日)	浜松市(中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)
			5月12日(土)～5月13日(日)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
		追加講習	5月19日(土)～5月20日(日)	沼津市(高島本町1-3「沼津労政会館」)
			6月2日(土)	静岡市(駿河区馬渕1-17-1「静岡県男女共同参画センターあざれあ」)
	30年 11月期 (試験日) 11月4日 11月11日	1日講習	10月1日(月)	浜松市(中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)
			10月3日(水)	富士市(柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」)
			10月5日(金)	焼津市(三ヶ名1550「焼津文化会館」)
			10月12日(金)	磐田市(二之宮東3-2「磐田市文化振興センター」)
			10月15日(月)	沼津市(高島本町1-3「沼津労政会館」)
			10月16日(火)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
		2日講習	10月6日(土)～10月7日(日)	沼津市(高島本町1-3「沼津労政会館」)
			10月10日(水)～10月11日(木)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			10月13日(土)～10月14日(日)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			10月20日(土)～10月21日(日)	浜松市(中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)
		追加講習	10月27日(土)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
	31年 2月期 (試験日) 2月17日	1日講習	1月15日(火)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			1月16日(水)	浜松市(中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)
			1月17日(木)	富士市(柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」)
			1月25日(金)	磐田市(二之宮東3-2「磐田市文化振興センター」)
			1月28日(月)	沼津市(高島本町1-3「沼津労政会館」)
		2日講習	1月12日(土)～1月13日(日)	沼津市(高島本町1-3「沼津労政会館」)
			1月19日(土)～1月20日(日)	浜松市(中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)
			1月26日(土)～1月27日(日)	静岡市(駿河区馬渕1-17-1「静岡県男女共同参画センターあざれあ」)
		追加講習	2月10日(土)	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)

※日程等は都合により変更になる場合があります。

●問合せ先

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会

〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2 相川伝馬町ビル7階
電話：054-252-5512 FAX：054-273-6524

危険物取扱者の義務

参考資料：(一財)全国危険物安全協会
保安講習テキスト (H30年版)

義務

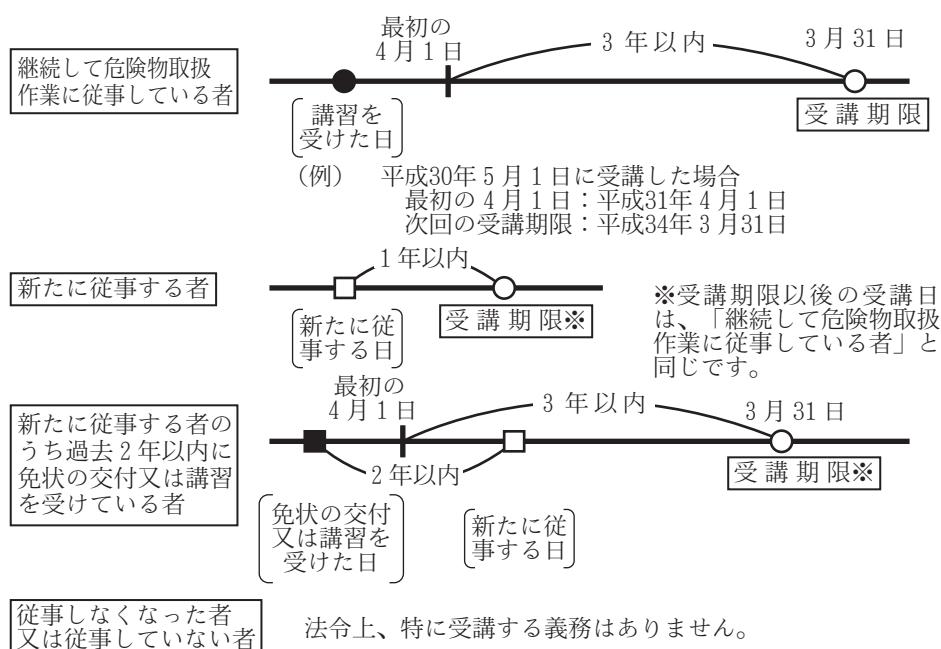
- ① 危険物保安講習の受講義務（法第13条の23、危規則第58条の14）
- ② 危険物取扱者免状の書換え義務（危政令第34条）
- ③ 危険物の移送時における乗車義務及び危険物取扱者免状の携帯義務（法第16条の2第1項、第3項）

① 危険物取扱者の保安講習受講義務

製造所等において、危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者は、原則として保安講習を受けた日以後における最初の4月1日から3年以内に、都道府県知事（又は総務大臣の指定する市町村長及びその他の機関）が行う危険物の取扱作業の保安に関する講習を受けなければなりません。（法第13条の23）

この保安講習は、危険物規制の趣旨、危険物関係法令の改正概要、危険物施設の保安管理等について危険物取扱者に周知徹底し、危険物施設からの災害を防止することを目的にするものです。

保安講習の受講期限



（注）受講場所の指定は、特になく、どこの都道府県で行われている講習であっても受講可能です。

② 危険物取扱者免状の書換え義務等

危険物取扱者は、免状の記載事項に変更を生じた場合には免状の書換えを申請しなければなりません。
(危政令第34条)

申請種別	書換え		再交付
	写真以外の記載事項	写真	
事由	免状が次の事由に該当する場合 1. 本籍の変更（同一都道府県内の転籍を除く。） 2. 氏名の変更 3. 生年月日の変更	免状の写真を撮影した日から10年を経過した場合	免状が次の事由に該当する場合 1. 亡失 2. 滅失 3. 汚損 4. 破損
申請先	当該免状を交付した都道府県知事又は、居住地若しくは勤務地を管轄する都道府県知事		免状の交付又は書換えの処理をした都道府県知事
必要書類	1. 免状 2. 書換申請書 3. 書換え事由を確認できるもの 戸籍抄本又は住民票（本籍の記載されたもの）	1. 免状 2. 書換申請書 3. 写真（申請前6か月以内に撮影したもの）	1. 免状（汚損又は破損の場合） 2. 再交付申請書 3. 写真（申請前6か月以内に撮影したもの）

詳しくは、手続先となる(一財)消防試験研究センター静岡県支部（電話054-271-7140 フax420-0034
静岡市葵区常磐町一丁目4-11杉徳ビル4階）へ問い合わせてください。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

危険物取扱作業に従事されている方へ

(H30年度 法定講習)

危険物取扱者保安講習

○各会場定員があります。定員に達した場合は当連合会のホームページに掲載します。確認の上、受講申請をしてください。

申請者が会場の定員に達した場合は、締切り前でも受付を終了します。詳しくは、受講案内をご覧ください。

○平成31年2月期の講習は、受講者が多くなることが予想されますので、早めの受講をお願いいたします。

開催時期	申請期間	講習種別	講習日	定員(名)	会 場
30年 7月期	5月1日(火) ↓ 5月31日(木) 締切日必着	給油取扱所	7月18日(水) 午前	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜松市浜北文化センター」)
			7月25日(水) 午後	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			7月27日(金) 午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			7月30日(月) 午前	250	御殿場市(萩原988-1「御殿場市民交流センターふじざくら」)
		コンビナート	7月20日(金) 午後	90	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)
			7月17日(火) 午後	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜松市浜北文化センター」)
			7月18日(水) 午後	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜松市浜北文化センター」)
			7月24日(火) 午後	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			7月25日(水) 午前	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			7月26日(木) 午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
		一般 ¹⁾	7月27日(金) 午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			7月30日(月) 午後	250	御殿場市(萩原988-1「御殿場市民交流センターふじざくら」)
			9月20日(木) 午前	130	伊東市(和田1-16-1「伊東市観光会館」)
			9月27日(水) 午前	200	御前崎市(佐倉3617-1「佐倉公民館」)
			9月19日(水) 午後	300	焼津市(三ヶ名1550「焼津文化会館」)
			9月20日(木) 午後	130	伊東市(和田1-16-1「伊東市観光会館」)
			9月26日(水) 午後	190	裾野市(深良435「裾野市生涯学習センター」)
			9月27日(木) 午後	200	御前崎市(佐倉3617-1「佐倉公民館」)
30年 9月期	7月2日(月) ↓ 7月31日(月) 締切日必着	給油取扱所	11月7日(水) 午前	300	三島市(一番町20-5「三島市民文化会館」)
			11月9日(金) 午前	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			11月14日(水) 午前	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			11月15日(木) 午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			11月16日(金) 午前	180	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)
		一般 ¹⁾	11月30日(金) 午後	300	浜松市(中区板屋町111-1「アクシティ浜松コングレスセンター」)
			11月6日(火) 午後	300	焼津市(三ヶ名1550「焼津文化会館」)
			11月7日(水) 午後	300	三島市(一番町20-5「三島市民文化会館」)
			11月8日(木) 午後	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			11月9日(金) 午後	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			11月13日(火) 午後	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			11月14日(水) 午後	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			11月15日(木) 午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			11月16日(金) 午後	180	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)
			11月22日(木) 午前	300	磐田市(上新屋304「アミューズ豊田」)
			11月22日(木) 午後	300	磐田市(上新屋304「アミューズ豊田」)
			11月28日(水) 午後	300	浜松市(中区板屋町111-1「アクシティ浜松コングレスセンター」)
			11月30日(金) 午前	300	浜松市(中区板屋町111-1「アクシティ浜松コングレスセンター」)
30年 11月期	8月1日(火) ↓ 8月31日(木) 締切日必着	給油取扱所	2月4日(月) 午前	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			2月6日(水) 午前	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			2月19日(火) 午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
		一般 ¹⁾	2月4日(月) 午後	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			2月6日(水) 午後	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			2月8日(金) 午後	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			2月19日(火) 午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
31年 2月期	12月3日(金) ↓ 12月28日(木) 締切日必着	給油取扱所	2月4日(月) 午前	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			2月6日(水) 午前	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			2月19日(火) 午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
		一般 ¹⁾	2月4日(月) 午後	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			2月6日(水) 午後	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			2月8日(金) 午後	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			2月19日(火) 午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)

1) 給油取扱所、コンビナート以外は一般

●受講案内(受講申請書)の入手方法(次のいずれかの方法で入手してください)

(1) 県下の消防局・消防本部または消防署内にある「地区協会」、および消防署(一部)で配付しています。

(2) (一社)静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードしてください。

●受講申請書提出先

給油取扱所、一般

コンビナート

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会へ郵送またはご持参ください。
(土・日・祝を除く平日8:30~17:00)
〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2 相川伝馬町ビル7階
電話:054-252-5512 FAX:054-273-6524
URL: http://www.skiren.jp

静岡市防災協会へ郵送またはご持参ください。
(土・日・祝を除く平日9:00~12:00 13:00~17:00)
〒422-8074 静岡市駿河区南八幡町10番30号
静岡市消防局消防部予防課内
電話:054-281-5500

●問合せ先 一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2 相川伝馬町ビル7階
電話:054-252-5512 FAX:054-273-6524
URL: http://www.skiren.jp

静 岡 県(保安講習実施機関)
一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会(保安講習事務委託機関)

(H30.4)

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I 継続事業（公益事業）

I-1 危険物の保安管理に関する人材育成事業

(1) 危険物取扱者試験予備講習事業

	申請者	申請者	申請者【()はH28実績】	
・ 1日講習 延べ22会場	419名	再受講 88名	(451名)	対前年△32名
・ 2日講習 延べ10会場	323名	再受講 15名	(306名)	+17名
合計	742名	再受講 103名	(757名)	△15名
・ うち追加講習 3回	70名			
・ うち学割受講者 1日講習	2名	2日講習 6名		

(2) 視聴覚教材整備事業（保安講習等普及啓発目的 DVD配布）

- ・地区協会に各1本配付（4月）
「ノウハウイ (know why) ~危険物施設における保安教育の充実~」（33分）

(3) 危険物管理等技術研修事業

①管理技術研修会

日 時 平成29年11月20日(月)
会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市駿河区）
講 演 講師 危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター長 伊藤英男氏
演題「危険物施設の安全管理」（事故事例と安全対策等）
参加者 248名

②高圧ガス危険物防災訓練事業

日 時 平成29年10月24日(火)
会 場 富士市 旭化成㈱グラウンド
主 催 静岡県、静岡県一般高圧ガス地域防災協議会、(一社)静岡県LPGガス協会、(一社)静岡県危険物安全協会連合会、富士市防火協会 等10団体
協 力 静岡県警察本部、富士警察署、富士市消防本部

(4) 講演会等人材育成事業（地区協会、連絡会、他団体との共催・協力・参加事業）

①地区協会等主催、県危険物安全協会連合会後援または共催の講演会等

- ・平成29年 5月25日 菊川市危険物安全協会講演会
- ・ 7月27日 浜松市防災協会講演会
- ・ 10月30日 静岡市防災協会講演会
- ・平成30年 1月16日 磐田市危険物安全協会講演会

②(一財)全国危険物安全協会等が主催する全国レベルの講演会への参加

- ・危険物施設安全推進講演会
(東京会場)

日 時 平成29年6月6日(火)
会 場 アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）
参加者 8名（地区協会事務局等）

I-2 危険物災害事故防止思想の普及啓発、高揚事業

(1) 表彰関連事業

①表彰委員会の開催

(第1回)

- ・日 時 平成29年6月12日(月)
- ・会 場 グランディエールブケトーカイ(静岡市)
県知事表彰候補者、会長表彰等の選考

(第2回)

- ・日 時 平成30年2月8日(木)
- ・会 場 グランディエールブケトーカイ(静岡市)
消防庁長官表彰、全国危険物安全協会理事長表彰の候補者選考

②創立記念大会開催事業

・第47回創立記念大会

日 時 平成29年9月5日(火)

会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ(静岡市駿河区)

表 彰 県知事表彰・褒章 9名(4人、5事業所)

県危険物安全協会連合会会长表彰 70名

記念講演(演題)「最後の砦は「私たち」」

(東日本大震災時の命のガソリンとは、被災状況から、対応、課題、教訓等)

(講師) 宮城県石油商業組合及び石油商業協同組合理事長 佐藤 義信氏

参加者 328名

(2) 広報活動事業

①危険物安全週間推進事業

危険物安全週間 平成29年6月4日(日)~10日(土)

・危険物安全大会への参加

日 時 平成29年6月5日(月)

会 場 ルポール麹町(東京都千代田区)

参加者 12名(受賞者、地区協会事務局、連合会職員)

・危険物安全週間啓発ポスター及び小冊子の配布

安全週間推進ポスター 4,780枚

危険物に関する小冊子 一般用 3,400冊

取扱者用 4,350冊

②静岡県防火のつどいへの参加

・日 時 平成29年10月21日(土)

・会 場 湖西市浜名湖競艇企業団 サンホール

(3) 他団体事業への協力事業

・静岡県幼少年女性防火委員会協力費

II その他事業（収益事業）

II-1 保安管理等受託業務事業

(1) 危険物取扱者保安講習

受講申請数	8,027名	(うち企業講習 延べ11回)	1,176名	申請者【()】はH28実績】
・ 7月期	7月～7月	11(12)回	1,846(1,749)名	
・ 9月期	8月～9月	10(11)回	1,543(1,543)名	
・ 11月期	10月～12月	27(27)回	3,509(3,828)名	
・ 2月期	1月～2月	8(8)回	1,129(1,009)名	
	合 計	56(58)回	8,027(8,129)名	
			対前年	△102名

(2) 定期点検実施制度に係る業務受託事業

地下タンク及び移動タンクの定期点検を行う認定事業者に対する実態調査等

- ・事業者認定等事務（認定申請受理、認定証交付）（再認定を含む） 5件
- ・認定事業者軽微変更届出事務（届出受理、付随業務） 0件
- ・認定事業者廃止届出事務（届出受理、付隨業務） 0件
- ・認定事業者実態調査事務（認定事業者指導員との連絡調整など） 延べ5事業者
- ・点検済証交付事務 延べ 25事業者 2,410枚

II-2 危険物関係図書等販売事業

(1) 危険物取扱者試験テキスト等販売事業

（一財）全国危険物安全協会編集発行の受験用テキスト販売（H28実績）

- ・危険物取扱必携法令編 1,265(1,435)冊
 - ・危険物取扱必携実務編 1,266(1,413)冊
 - ・危険物取扱者試験例題集（甲、乙） 1,297(1,421)冊
- 計 3,828(4,269)冊 △441冊

(2) 定期点検簿販売事業

危険物施設の定期点検記録簿の印刷・販売（H28実績）

- ・増刷数 1,000(1,200)冊
- ・販売数 1,037(1,042)冊

III 法人管理事業

(1) 会議の開催

①地区協会担当者及び保安講習講師担当者会議

- ・日時 平成29年4月28日(金)
- ・会場 静岡市産学交流センター（静岡市）
- ・県危連の事業計画推進への協力依頼等

② 常任委員会

（第1回総務広報合同委員会）

- ・日時 平成29年5月22日(月)
- ・会場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）

平成28年度事業報告及び決算、平成29年度広報活動計画、会報編集方針等

（第1回総務企画合同委員会）

- ・日時 平成30年3月15日(木)
- ・会場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）

平成30年度事業計画及び予算、平成29年度事業進捗状況報告

③理事会

(第1回)

- ・日時 平成29年5月22日(月)
- ・会場 グランディエールブケトーカイ(静岡市)
- ・議題 報告事項 平成28年度常任委員会、表彰委員会報告
決議事項 定時総会の開催、平成28年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告、理事・監事の補充選定、顧問・参与・委員会委員の選任、創立記念大会案の承認

(第2回)

- ・日時 平成29年11月20日(月)
- ・会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ(静岡市)
- ・議題 報告事項 平成29年度上期の事業進捗状況報告 等

(第3回)

- ・日時 平成30年3月15日(木)
- ・会場 グランディエールブケトーカイ(静岡市)
- ・議題 決議事項 平成30年度事業計画及び収支予算
報告事項 平成29年度事業計画進捗状況

④総会

- ・日時 平成29年6月23日(金)
- ・会場 静岡グランドホテル中島屋(静岡市)
- ・議題 決議事項 平成28年度事業報告、平成28年度決算報告、理事・監事の補充選任

⑤正副会長会議

(第1回)

- ・日時 平成29年6月12日(月)
- ・会場 グランディエールブケトーカイ(静岡市)

(第2回)

- ・日時 平成29年6月23日(金)
- ・会場 静岡グランドホテル中島屋(静岡市)

(第3回)

- ・日時 平成29年9月5日(火)
- ・会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ(静岡市)

(第4回)

- ・日時 平成29年11月20日(月)
- ・会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ(静岡市)

(第5回)

- ・日時 平成30年3月15日(木)
- ・会場 グランディエールブケトーカイ(静岡市)

(2) 会議への参加

①都道府県危険物安全協会連合会事務局長会議

- ・日時 平成29年4月14日(金)
- ・会場 ルポール麹町(東京都千代田区)

②静岡県危険物運搬車両事故防止等対策協議会

- ・日時 平成29年4月19日(水)
- ・会場 静岡県庁別館9階会議室

- ③北陸・東海ブロック県危険物安全協会連合会事務局長会議
 - ・日時 平成29年8月24日(木)～25日(金)
 - ・会場 福井県小浜市
- ④都道府県危険物安全協会連合会会長研修会
 - ・日時 平成30年1月24日(水)
 - ・会場 ルポール麹町(東京都千代田区)

(3) 訓練への参加

- ①静岡県消防救助技術大会(陸上の部)
 - ・日時 平成29年6月6日(火)
 - ・会場 静岡県消防学校
- ②消防技術関東地区指導会(水上の部)
 - ・日時 平成29年7月14日(金)
 - ・会場 静岡県立水泳場

(4) (一財)全国危険物安全協会会費

- ・(一財)全国危険物安全協会会費

(5) 事務局の運営

年間を通じて総務、経理処理等の業務推進

IV I～IIIにまたがる主な事業

広報活動事業

- ①ホームページ運営事業
 - ・年間を通じて、危険物の保安管理等に関する各種情報の提供
- ②会報発行事業(会報第67号)
 - ・発行 平成29年10月
350冊(うち地区協会 300冊、その他関係機関宛て 50冊)
 - ・ウェブ版 平成29年11月アップ

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成29年度 決算額 (正味財産増減計算ベース)

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで

一般会計
(単位：円)

科 目	平成29年度(A)	平成28年度(B)	増減(A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,226	582,403	▲ 579,177
特定資産運用益計	3,226	582,403	▲ 579,177
受取会費			
正会員受取会費	3,200,000	3,200,000	0
賛助会員受取会費	200,000	200,000	0
受取会費計	3,400,000	3,400,000	0
事業収益			
受講料収益	3,942,000	3,872,500	69,500
受託料収益	30,435,120	30,847,640	▲ 412,520
図書等販売収益	5,699,055	6,324,235	▲ 625,180
事業収益計	40,076,175	41,044,375	▲ 968,200
受取補助金等			
受取民間助成金	1,154,000	1,824,000	▲ 670,000
受取補助金等計	1,154,000	1,824,000	▲ 670,000
雑収益			
受取利息	160	174	▲ 14
雑収益計	160	174	▲ 14
経常収益計	44,633,561	46,850,952	▲ 2,217,391
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	8,340,225	7,883,716	456,509
臨時雇賃金	733,250	751,340	▲ 18,090
退職給付費用	497,000	490,000	7,000
福利厚生費	1,377,978	1,333,445	44,533
会議費	307,846	337,095	▲ 29,249
会場費	2,313,305	2,345,735	▲ 32,430
旅費交通費	1,565,697	1,447,744	117,953
通信運搬費	652,247	665,191	▲ 12,944
消耗什器備品費	12,420	167,184	▲ 154,764
消耗品費	584,096	586,340	▲ 2,244
修繕費	37,800	0	37,800
印刷製本費	1,154,645	1,359,308	▲ 204,663
賃借料・リース料	1,748,812	1,748,812	0
保険料	20,504	20,592	▲ 88
諸謝金	2,053,370	2,010,250	43,120
支払負担金	377,960	270,655	107,305
支払助成金	70,000	70,000	0
委託費	3,079,820	3,111,170	▲ 31,350
図書購入費	12,570,660	13,412,400	▲ 841,740
サイト運営費	265,436	270,418	▲ 4,982
涉外費	10,800	0	10,800
雑費	231,839	211,549	20,290
事業費計	38,005,710	38,492,944	▲ 487,234

科 目	平成29年度(A)	平成28年度(B)	増減(A-B)
管理費			
給与手当	2,228,076	2,124,646	103,430
退職給付費用	133,000	130,000	3,000
福利厚生費	372,289	370,282	2,007
研修費	17,000	27,000	▲ 10,000
会議費	776,408	734,791	41,617
旅費交通費	471,008	553,637	▲ 82,629
通信運搬費	79,864	68,720	11,144
消耗什器備品費	15,660	0	15,660
消耗品費	224,950	218,402	6,548
印刷製本費	36,428	34,089	2,339
水道光熱費	226,285	215,862	10,423
賃借料・リース料	862,628	745,988	116,640
保険料	9,240	9,240	0
租税公課	946,912	1,575,139	▲ 628,227
支払負担金	80,000	80,000	0
支払助成金	250,000	250,000	0
支払会費	376,640	376,640	0
委託費	179,280	179,280	0
図書購入費	10,112	7,623	2,489
保守料	64,800	64,800	0
サイト運営費	29,492	30,048	▲ 556
涉外費	60,000	76,200	▲ 16,200
雑費	96,738	107,658	▲ 10,920
管理費計	7,546,810	7,980,045	▲ 433,235
経常費用計	45,552,520	46,472,989	▲ 920,469
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 918,959	377,963	▲ 1,296,922
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 918,959	377,963	▲ 1,296,922
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 918,959	377,963	▲ 1,296,922
当期一般正味財産増減額	▲ 918,959	377,963	▲ 1,296,922
一般正味財産期首残高	55,590,925	55,212,962	377,963
一般正味財産期末残高	54,671,966	55,590,925	▲ 918,959
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	54,671,966	55,590,925	▲ 918,959

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成30年度 事業計画書

事業計画は、公益性が強い「継続事業」と収益のある「その他事業」に分類する。

I 継続事業（人材育成と普及啓発事業）

- I – 1 人材育成事業
- I – 2 普及啓発事業

II その他事業（保安講習等に関する受託と図書販売事業）

- II – 1 受託事業
- II – 2 図書販売事業

III 法人管理事業

I 継続事業（公益事業）

I – 1 危険物の保安管理に関する人材育成事業

(1) 危険物取扱者試験予備講習事業

危険物取扱者試験（乙種4類）の受験者を対象に受験対策講習を開催し、合格率を向上させることにより危険物取扱者の確保を図る。（H27～29年度の実績を参考）

- 1日講習 年3期（17回） 402名
- 2日講習 年3期（10回） 310名
- 追加講習（1日）年3期（3回） 90名（無料）

(2) 危険物管理等技術研修事業

①危険物管理技術研修会

危険物取扱者、危険物施設管理者、消防職員などを対象に危険物の保安管理に関する知識、技術の習得を行う。

- 開催時期 平成30年11月21日（水）
- 場所 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」（静岡市）
- 講演講師 東京経済大学名誉教授 吉井博明氏
「失敗事例に基づき、自ら考える危機管理」（仮題）
- 参加者 250名

②高圧ガス・危険物防災訓練事業

静岡県、高圧ガス関係団体、消防機関などと協力し、高圧ガスと危険物に関する防災訓練を行い、災害事故への対処方法の習熟を図る。

- 開催地の地区協会と共同参加
- 平成30年10月31日（水） 静岡市

(3) 講演会等人材育成事業（地区協会、連絡会、他団体との共催・協力・参加事業）

①県危険物安全協会連合会と地区協会が連携し、地域に対応した危険物安全思想の普及啓蒙の促進を図るために、市民が広く参加できる講演会等を行う。

②(一財)全国危険物安全協会等が主催する全国レベルの講演会等の紹介や参加を要請し、危険物に係わる人材の育成を図る。

③(一財)全国危険物安全協会が無償提供する教育用DVDを各地区協会に配付し、危険物取扱事業所に貸出しを行う。また、保安講習に活用し人材育成を図る。

I－2 危険物災害事故防止思想の普及啓発、高揚事業

(1) 表彰関連事業

危険物による災害事故の防止に不断の努力を重ね、危険物の保安推進を図り、著しい成果を収めた個人及び危険物取扱事業所に対し、国や県の表彰候補者を選考・推薦するとともに、県危険物安全協会連合会会長表彰を行う。また、表彰に合わせて記念講演も行う。

①表彰委員会の開催

(第1回)

- ・日時 平成30年6月11日(月)
- ・会場 グランディエールブケトーカイ(静岡市)
- ・議題 県知事表彰候補者の選考、県危険物安全協会連合会会長表彰者の決定、消防庁長官表彰、(一財)全国危険物安全協会理事長表彰候補者の推薦連絡会選定

(第2回)

- ・日時 平成31年2月上旬
- ・会場 グランディエールブケトーカイ(静岡市)
- ・議題 消防庁長官表彰、(一財)全国危険物安全協会理事長表彰の候補者選考
平成31年度の表彰推薦指定
消防庁長官表彰：優良危険物関係事業所1
(一財)全国危険物安全協会理事長表彰：個人または団体2、事業所1、感謝状1

②創立記念大会開催事業

- ・開催時期 平成30年9月4日(火)
- ・場 所 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡市)
- ・記念講演講師 名古屋大学教授 福和伸夫氏(名古屋大学減災連携研究センター長)
『「彼を知り己を知れば百戦殆からず」で南海トラフ地震を凌ぐ』(仮題)
- ・参 加 者 350名

(2) 広報活動事業

- ①安全週間推進ポスター等の掲示・配付を行い、災害事故防止思想の普及啓発を図る。
 - ・危険物安全週間 平成30年6月3日(日)～9日(土)
 - ・安全週間推進ポスター 4,620枚
 - ・危険物に関する一般向け小冊子 3,600冊
 - ・危険物取扱者向け小冊子 4,220冊
- ②県民の防火意識の高揚及び民間防火組織の育成を図るため、「静岡県防火のつどい」に参加。
 - ・静岡県防火のつどい 平成30年10月20日(土)に御殿場市内で開催予定。

(3) 他団体事業への協力事業

- ・静岡県幼少年女性防火委員会協力費

II その他事業（収益事業）

II-1 保安管理等受託業務事業

（1）危険物取扱者保安講習

危険物取扱者に課せられる保安講習（消防法第13条の23）の事務を静岡県知事から委託を受け実施する。これにより危険物取扱者の知識、技術の向上を図る。

- ・受講者：7,600名
- ・会場：東、中、西部の各地区 計12市・43回（予定）
- ・時期：7月期、9月期、11月期、2月期
- ・出張講習：一般 概ね100人規模／回の参加が見込まれる企業等（14回程度予定）

（2）定期点検実施制度に係る業務

地下タンク及び移動タンクの定期点検を行う認定事業者の認定事務、同事業者に対する実態調査などを支援する。

- ・認定事業者：（一財）全国危険物安全協会の講習を受け認定された事業者

II-2 危険物関係図書等販売事業

危険物取扱者試験受験者及び危険物取扱事業所の利便性を高めるため、関係図書等を販売する。

（1）危険物取扱者試験テキスト販売事業

甲種及び乙種第4類の危険物取扱者試験受験者に対して（一財）全国危険物安全協会編集発行の受験用テキスト（4種類）を販売する。

（2）定期点検記録簿販売事業

危険物施設の定期点検の内容を容易に把握でき、かつ点検結果を記録するための記録簿を印刷し、販売する。

III 法人管理事業

（1）会議の開催

- ①総会
- ②理事会
- ③正副会長会議
- ④常任委員会（総務、企画、広報）
- ⑤地区協会担当者会議

（2）会議等への参加

- ①全危協都道府県危連会長研修会
- ②全危協都道府県危連事務局長会議
- ③北陸・東海ブロック県危連会長会議（三重県桑名市）
- ④静岡県危険物運搬車両事故防止等対策協議会
- ⑤地区協会周年記念式典

（3）訓練の観察

- ①静岡県消防救助技術大会
- ②東名高速道路日本坂トンネル防災訓練

(4)(一財)全国危険物安全協会への協力

- ・(一財)全国危険物安全協会会費

(5) 総務・会計事務（事務局の運営）

IV I～IIIにまたがる主な事業

(1) 広報活動事業

①ホームページ運営事業

連合会のホームページに危険物に関する各種情報（予備講習及び保安講習の受講案内、危険物関連情報、会報など）を提供する。

②会報発行事業

年1回、会報を370部作成し関係先に配付するとともに、ホームページ上に掲載し、災害事故防止思想の普及啓発を図る。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成30年度 収支予算書 (正味財産増減計算ベース)

平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで

一般会計
(単位：円)

科 目	平成30年度(A)	平成29年度(B)	増減(A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,000	3,000	0
特定資産運用益計	3,000	3,000	0
受取会費			
正会員受取会費	3,200,000	3,200,000	0
賛助会員受取会費	200,000	200,000	0
受取会費計	3,400,000	3,400,000	0
事業収益			
受講料収益	3,700,000	3,620,000	80,000
受託料収益	28,826,000	28,400,000	426,000
図書等販売収益	5,193,000	6,270,000	▲ 1,077,000
事業収益計	37,719,000	38,290,000	▲ 571,000
受取補助金等			
受取民間助成金	809,000	1,205,000	▲ 396,000
受取補助金等計	809,000	1,205,000	▲ 396,000
受取負担金			
受取負担金	0	0	0
受取負担金計	0	0	0
雑収益			
受取利息	1,000	1,000	0
広告収入	0	0	0
雑収益計	1,000	1,000	0
 経常収益計	41,932,000	42,899,000	▲ 967,000
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	8,471,000	8,360,000	111,000
臨時雇賃金	800,000	800,000	0
退職給付費用	504,000	497,000	7,000
福利厚生費	1,410,000	1,440,000	▲ 30,000
会議費	330,000	355,000	▲ 25,000
会場費	2,375,000	2,430,000	▲ 55,000
旅費交通費	1,540,000	1,630,000	▲ 90,000
通信運搬費	695,000	695,000	0
消耗品費	610,000	595,000	15,000
印刷製本費	1,340,000	1,370,000	▲ 30,000
賃借料・リース料	1,748,000	1,748,000	0
保険料	25,000	25,000	0
諸謝金	2,034,000	2,080,000	▲ 46,000
支払負担金	400,000	300,000	100,000
支払助成金	70,000	70,000	0
委託費	3,085,000	3,200,000	▲ 115,000
図書購入費	12,330,000	12,048,000	282,000
サイト運営費	280,000	280,000	0
保守料	0	0	0
雜費	270,000	220,000	50,000
事業費計	38,317,000	38,143,000	174,000

科 目	平成30年度(A)	平成29年度(B)	増減(A - B)
管理費			
給与手当	2,307,000	2,260,000	47,000
退職給付費用	136,000	133,000	3,000
福利厚生費	392,000	385,000	7,000
会議費	800,000	850,000	▲ 50,000
旅費交通費	500,000	550,000	▲ 50,000
通信運搬費	100,000	100,000	0
消耗品費	250,000	250,000	0
印刷製本費	50,000	50,000	0
水道光熱費	250,000	270,000	▲ 20,000
賃借料・リース料	865,000	918,000	▲ 53,000
諸謝金	0	0	0
租税公課	1,200,000	1,200,000	0
支払負担金	80,000	120,000	▲ 40,000
支払助成金	250,000	250,000	0
支払会費	377,000	377,000	0
委託費	180,000	180,000	0
図書購入費	15,000	10,000	5,000
修繕費	50,000	50,000	0
研修費	30,000	30,000	0
保険料	10,000	10,000	0
保守料	65,000	65,000	0
サイト運営費	35,000	35,000	0
雑費	150,000	150,000	0
管理費計	8,092,000	8,243,000	▲ 151,000
経常費用計	46,409,000	46,386,000	23,000
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 4,477,000	▲ 3,487,000	▲ 990,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 4,477,000	▲ 3,487,000	▲ 990,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 4,477,000	▲ 3,487,000	▲ 990,000
当期一般正味財産増減額	▲ 4,477,000	▲ 3,487,000	▲ 990,000
一般正味財産期首残高	54,670,945	55,590,925	▲ 919,980
一般正味財産期末残高	50,193,945	52,103,925	▲ 1,909,980
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	50,193,945	52,103,925	▲ 1,909,980

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

視聴覚教材一覧

連合会で整備している視聴覚教材です。県内への貸出しが無料ですので、市民の普及啓蒙活動や従業員教育などにご活用下さい。

(製作:(一財)全国危険物安全協会)

整備年度	タイトル	媒体	時間	備考
平成30年	備えあれば憂いなし～震災に備えて危険物施設にできること～	DVD	29分	
平成29年	ノウハウ (know why) ～危険物施設における保安教育の充実～	DVD	33分	
平成28年	危険物事故とリスク ～教訓を活かすために～	DVD	29分	
平成27年	危険物施設におけるヒューマンエラー	DVD	37分	
平成26年	事故事例から学ぶ 危険物の保安対策	DVD	31分	
平成25年	危険物取扱者の地震発生時の対応 ～そのとき あなたは何をすべきか～	DVD	38分	
平成24年	危険物施設におけるヒヤリハット ～より高い安全をめざして～	DVD	37分	
平成23年	危険物施設の事故事例に学ぶ保安対策 ～危険物取扱者の役割～	DVD	36分	
平成22年	事例に学ぶ危険物施設の火災予防 ～事故ゼロをめざして～	DVD	29分	
平成21年	危険物施設の流出事故を防げ！ ～危険物施設 流出事故ファイル～	VHS・DVD	28分	
平成20年	地震に備えていますか!? ～事前の地震対策～	VHS・DVD	29分	
平成19年	安全はつくるもの！ ～事故防止対策の推進～	VHS・DVD	27分	
平成18年	危険物施設の自主保安～リスクは潜む～	VHS・DVD	22分	
平成18年	危険物 6つの扉～危険物の性状と消火の方法～	VHS	31分	KHK版
平成18年	給油取扱所の安全を考える～ガソリンスタンドの火災防止対策～	VHS	25分	KHK版
平成18年	危険物施設の火災を防げ!～固定泡消火設備の仕組みと使い方～	VHS	35分	KHK版
平成17年	自主保安へ たしかな一步を～自主保安確立のための新たな視点～	VHS・DVD	20分	
平成16年	事故事例に学ぶ日常点検のあり方～日常に潜む危険～	VHS	20分	
平成15年	K Y T 手法による事故防止	VHS	18分	
平成15年	危険物の漏えいによる環境汚染を防ぐために	VHS	29分	KHK版
平成14年	安全はみんなのもの ～給油取扱所の安全管理～	VHS	16分	
平成13年	安全はみんなのもの ～工事中の事故防止～	VHS	20分	
平成12年	安全はみんなのもの ～ヒューマンエラーと保安対策～	VHS	21分	
平成11年	給油取扱所の安全を守る ～危険物保安監督者の責務～	VHS	20分	
平成10年	目で見るヒヤリ・ハット ～コンビナート施設～	VHS	21分	
平成9年	地震だ！あなたはどうする ～危険物～	VHS	20分	
平成8年	給油取扱所の安全を築く	VHS	30分	
平成8年	危険物施設の腐食を防ぐ	VHS	30分	
平成8年	危険物の安全な容器と運搬	VHS	23分	
平成8年	屋外タンクの設置と安全性 (設計から完成まで)	VHS	29分	
平成7年	事故だ！その時あなたは？	VHS	20分	
平成6年	災害事例から学ぶ	VHS	20分	
平成5年	お父さんはタンクローリーの運転手	VHS	20分	
平成4年	危険物施設と静電気	VHS	21分	
平成3年	危険物施設の日常点検	VHS	20分	

注) K H K : 危険物保安技術協会

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成30年度 (一社)静岡県危険物安全協会連合会役員・地区協会会长名簿

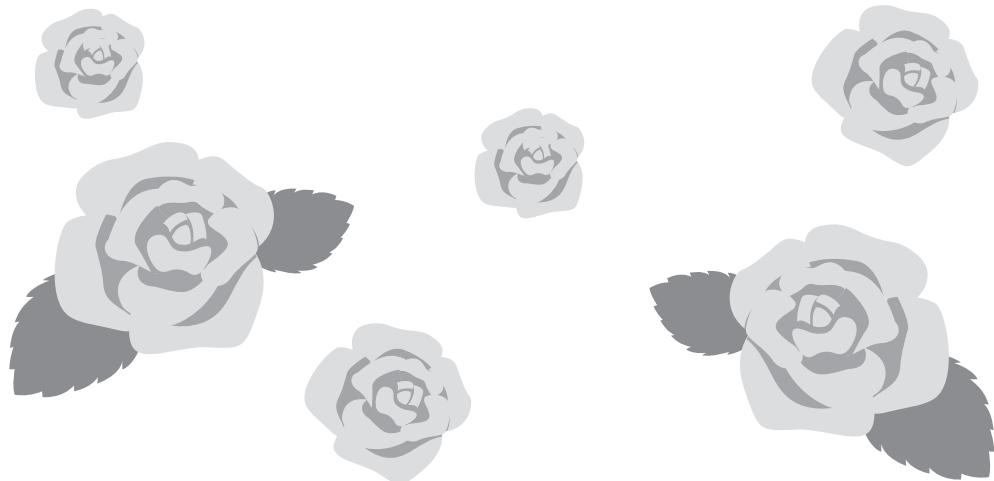
平成30年7月1日現在

	氏 名	所 属 役 職 名
顧 問	金嶋 千明	静岡県危機管理部長兼危機管理監代理
同	村田 吉伸	静岡県消防長会会長
同	山梨 透	前連合会会長
参 与	細沢 光晴	静岡県危機管理部消防保安課長

平成30年7月1日現在

役 職 名	氏 名	所 属 役 職 名
会 長 (理事)	中島 博康	沼津市防火協会会长
副会長 (理事)	鈴木 裕司	浜松市防災協会会长
同	相川 賀秀	静岡市防災協会副会長
常務理事	近藤 聰	連合会事務局長
理 事	鈴木 厚	磐田市危険物安全協会会长
同	渡辺 智明	富士市防火協会会长
同	本目 武彦	牧之原市相良地区危険物安全協会会长
監 事	佐藤 潔	富士市防火協会副会長
同	望月 久司	静岡市防災協会理事
地区協会会长	松本 大明	下田地区危険物安全協会会长
同	稲葉 智之	東伊豆町危険物安全協会会长
同	井原 宏政	伊東市危険物安全協会会长
同	前田 久憲	熱海市防火協会会长
同	松本 昭二	田方防火協会会长
同	中島 博康	沼津市防火協会会长
同	鈴木 靖	清水町防火協会会长
同	山本 良一	三島市防火協会会长
同	影山 正樹	長泉町防火協会会长
同	市岡 由寿	裾野市防火協会会长

役職名	氏名	所属役職名
同	那須野孝之	御殿場市小山町防火安全協会会长
同	渡辺 智明	富士市防火协会会长
同	御宿 冬樹	富士宮市防火安全协会会长
同	糠谷 徳昭	静岡市防災协会会长
同	土屋 仁	志太危険物安全协会会长
同	寶勝 智貴	島田・北榛原地区危険物安全协会会长
同	須藤 裕	吉田榛原危険物安全协会会长
同	本目 武彦	牧之原市相良地区危険物安全协会会长
同	野川 修身	御前崎市危険物安全协会会长
同	平松 敏和	菊川市危険物安全协会会长
同	龍光 純男	掛川市危険物安全协会会长
同	平川 和之	袋井保安管理协会会长
同	鈴木 厚	磐田市危険物安全协会会长
同	鈴木 裕司	浜松市防災协会会长
同	大谷 勇	湖西市危険物安全协会会长



☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

贊助会員名簿

平成30年4月現在

会員事業所名	住 所
静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3丁目8番1号
JXTGエネルギー株式会社 清水油槽所	静岡市清水区袖師町1900番地
静岡県石油業協同組合	静岡市駿河区緑ヶ丘町1番3号
一般社団法人静岡県LPガス協会	静岡市葵区本通6丁目1番10号

平成30年度各委員会委員名簿

平成30年7月1日現在

1 常任委員会

(1) 総務委員会（委員長：鈴木裕司副会長）

9名

鈴木 裕司（浜松市）	御宿 冬樹（富士宮市）
松本 大明（下田地区）	須藤 裕（吉田榛原）
井原 宏政（伊東市）	龍光 純男（掛川市）
赤城 博由（三島市）	田村 仁（磐田市）
影山 正樹（長泉町）	

(2) 企画委員会（委員長：相川賀秀副会長）

9名

相川 賀秀（静岡市）	栗山総一郎（牧之原市相良地区）
稲葉 智之（東伊豆町）	野川 修身（御前崎市）
山田 晃弘（熱海市）	龍光 純男（掛川市）
鈴木 靖（清水町）	平川 和之（袋井）
那須野孝之（御殿場市小山町）	

(3) 広報委員会（委員長：相川賀秀副会長）

8名

相川 賀秀（静岡市）	若尾 秀元（島田・北榛原地区）
松本 昭二（田方）	平松 敏和（菊川市）
市岡 由寿（裾野市）	永田 清也（磐田市）
渡辺 智明（富士市）	次廣 幸司（湖西市）

2 表彰委員会（委員長：中島博康会長）

7名

中島 博康（連合会会長）	巻田 達央（志太、中部地区）
鈴木 裕司（連合会副会長）	平松 敏和（菊川市、西部地区）
相川 賀秀（連合会副会長）	近藤 聰（連合会事務局長）
赤城 博由（三島市、東部地区）	

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

(一社)静岡県危険物安全協会連合会地区協会事務局住所

(平成30年4月1日)

地区協会名	郵便番号	住所	電話番号	会員数 H30.1.1
東部	下田地区危険物安全協会	415-0026 下田市6丁目1番地14号 下田消防本部内	0558-22-1849	86
	東伊豆町危険物安全協会	414-0013 伊東市桜木町1丁目1番3号 駿東伊豆消防本部第三方面本部内	0557-38-0198	34
	伊東市危険物安全協会	414-0013 伊東市桜木町1丁目1番3号 駿東伊豆消防本部第三方面本部内	0557-38-0198	115
	熱海市防火協会	413-0015 熱海市中央町1番1号 熱海市消防本部内	0557-86-6622	98
	田方防火協会	410-2318 伊豆の国市白山堂327番地の1 駿東伊豆消防本部第二方面本部内	0558-76-5591	145
	沼津市防火協会	411-0903 駿東郡清水町堂庭212番地の1 駿東伊豆消防本部第一方面本部内	055-991-5119	216
	清水町防火協会	411-0903 駿東郡清水町堂庭212番地の1 駿東伊豆消防本部第一方面本部内	055-991-5119	37
	三島市防火協会	411-0837 三島市南田町4番40号 富士山南東消防本部内	055-972-5802	91
	長泉町防火協会	411-0942 駿東郡長泉町中土狩910番地の1 富士山南東消防本部長泉消防署内	055-986-1199	45
	裾野市防火協会	410-1117 裾野市石脇515番地 富士山南東消防本部裾野消防署内	055-992-3211	74
中部	御殿場市小山町防火安全協会	412-0026 御殿場市東田中1丁目19番1号 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部内	0550-83-0119	163
	富士市防火協会	417-8601 富士市永田町1丁目100番地 富士市消防本部内	0545-55-2860	193
	富士宮市防火安全協会	418-8601 富士宮市弓沢町150番地 富士宮市消防本部内	0544-22-1199	161
	静岡市防災協会	422-8074 静岡市駿河区南八幡町10番30号 静岡市消防局消防部内	054-281-5500	288
	志太危険物安全協会	425-0041 焼津市石津728番地の2 志太広域事務組合志太消防本部内	054-623-0119	267
西部	島田・北榛原地区危険物安全協会	427-0048 島田市旗指513番地の1 静岡市島田消防署内	0547-37-0171	156
	吉田榛原危険物安全協会	421-0301 榛原郡吉田町住吉1386番地の5 静岡市吉田消防署内	0548-32-7944	116
	牧之原市相良地区危険物安全協会	421-0523 牧之原市波津191番地1 静岡市牧之原消防署内	0548-53-0119	101
	御前崎市危険物安全協会	437-1612 御前崎市池新田5151番地の1 御前崎市消防本部内	0537-85-2657	77
西	菊川市危険物安全協会	439-0022 菊川市東横地385 菊川市消防本部内	0537-35-3284	107
	掛川市危険物安全協会	436-0079 掛川市掛川1102番地の2 掛川市消防本部内	0537-21-6103	208
	袋井保安管理協会	437-0064 袋井市川井996番地の2 袋井消防本部内	0538-44-5115	166
	磐田市危険物安全協会	437-1292 磐田市福田400番地 磐田市消防本部内	0538-59-1720	191
	浜松市防災協会	430-0905 浜松市中区下池川町19番1号 浜松市消防局内	053-476-1476	586
	湖西市危険物安全協会	431-0442 湖西市古見1076番地 湖西市消防本部内	053-574-0212	69
	合計			
				3,790

☆☆☆ ☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆ ☆☆☆

連合会事務局の主要事業の一つであります「会報」68号の発行にあたり、寄稿をお願いしましたところ、国関係の受賞者の皆様、知事表彰・褒章の受賞者、地区協会の会長・連合会の委員になられた方々を始め、地区協会の役員・職員など多くの皆様にご協力をいただき、ようやく発行することができました。

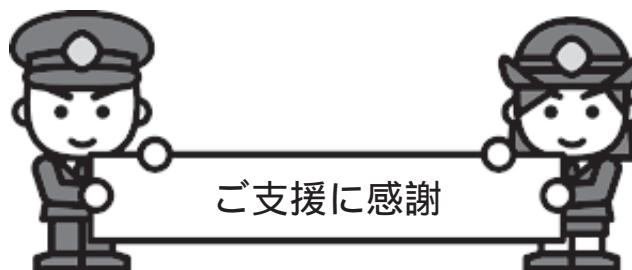
今年度は、台風第21号のため創立記念大会が中止となり、表彰状の授与式が11月21日に実施された危険物管理技術研修会とともに行われました。このため、発行が12月となり、関係者の皆様に大変お手数をおかけしました。この場をお借りして、関係の皆様方の絶大なるご支援に感謝を申し上げます。

事業所を取り巻く環境は大変厳しく、また、本県に関わる巨大地震につきましても、これまでの予知が可能とされた東海地震への対応から一転して予知を前提としない南海トラフ巨大地震への対応が必要となるなど、その状況は激変しております。

こういった厳しい状況の中で、事故をなくすためには、どうしたらいいのかということを念頭に編集いたしました。

この「会報」68号を、連合会や、連絡会、地区協会の活動記録として残していただきたいと思います。また、当連合会や地区協会の会長さんなど役員の皆さんから寄稿をいただいたコラムは、是非、一読されることをお勧めします。会長さん達の隠れた一面が覗えますし、読み物としても大変に面白いものとなっています。

今後も、会員の皆様方や、消防機関の皆様方には、当連合会の事業に引き続きご協力・ご支援をいただきますよう宜しくお願ひいたします。



「会報」第68号

平成30年12月21日 発行

○発 行 一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会
〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2号
相川伝馬ビル7階
電 話 054-252-5512
FAX 054-273-6524
E-Mail : sizu-kenkiren@muse.ocn.ne.jp
<http://www.skiren.jp>

○印刷所 池田屋印刷株式会社
〒422-8058 静岡市駿河区中原746番の1

上地 結衣 選手

(エイベックス所属)

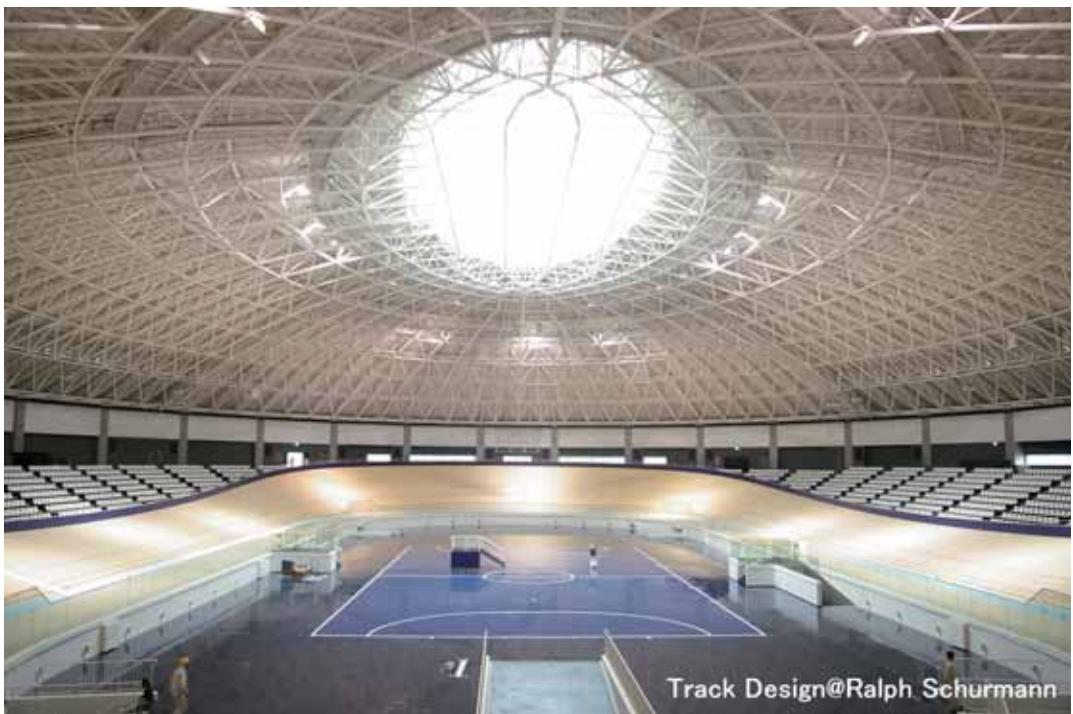
届け無事故へ
みんなの願い
この一球

危険物
災害を
なくそう



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会

このポスターは、危険物安全週間推進協議会が制作しています。



(写真提供「一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター」)

